

春日井市民病院年報

第 3 卷

(2016)

春日井市民病院

序

内容を一新した「春日井市民病院年報」も第3巻を出版することとなりました。最近、英語論文として海外雑誌に投稿する者も増加しており、当院から国際的に情報発信できるようになったことは、特筆すべき出来事であると思います。また、学会発表を行った者、あるいは講演会への招聘などを受けた者が、医師だけではなく、多職種の職員に広がっていることも素晴らしいことでもあります。最近では、厚生労働省の支援事業として、当院が積極的に関わっている「人生の最終段階における医療体制整備事業」(End-of-Life Care Team)の取組がNHKの「クローズアップ現代」や、有働由美子アナが司会する「あさいち」で紹介されました。新型インフルエンザの時は、疑い患者が入院したことで、病院の外観が放映され、外来患者の急減などを経験しましたが、前向きな番組構成の中で病院の映像が放映された時は、嬉しい気持ちでいっぱいでした。今後も地域医療に真剣に取り組んでいる病院として、さまざまな活動を通じて、広報活動も積極的に行っていきたいと思います。

さて、人間の知識には「情報知と経験知」、「形式知と暗黙知」と称される、相反するものがあります。現在の医学で主流となっているEBM (Evidence Based Medicine) は情報知や形式知の最たるものかもしれませんが、しかし、EBMが万能であるわけではありません。目標値であるfinal outcomeをどのように設定するかで、結果にバイアスがかかる可能性があるからです。たとえば手術後の生存率を重視するのか、患者の生活的満足度を重視するのかでも、全く正反対の結果が出ることもありえます。既に3回受審した病院機能評価で重視されたマニュアルも同様です。さまざまな経験を基に定型化された内容が診療マニュアル、あるいは治療ガイドラインとして整備されました。問題なのは、このマニュアルには記載されていない、一つの文章から次の文章に至るまでの間に存在する「落とし穴」の存在を読者は気付かないことです。したがって、マニュアルは立派に出来上がっていてもhuman errorを完全に排除できないという矛盾が生じるのです。それを埋めるのが、経験に基づく個々人の知識でしょうし、医療者が医療現場で無意識に感じる危険な臭いへの戦慄ではないでしょうか。今後の病院機能評価などでは、形式の整備から、意思の伝達、多職種での共同作業、それに伴う暗黙知の向上へと進んでいくのではないかと思います。幸いにも、この医報の業績の中には、Randomized studyの結果を記したものから、個々の症例の経験を報告するものまで幅広い内容が記されています。日々の学術的活動がよりよい医療の提供の一助となることを祈念してやみません。

現在、愛知県では団塊世代の高齢化を見据えた地域医療計画が策定中です。当院が急性期医療を担う基幹病院として存続するためには、医療が地域完結型へと転換していく流れの中で、如何に近隣施設と協同していくかが重要です。地域研修会やカンサーボードを通じ、顔の見える連携を構築していきますので、当院の活動へのご支援をお願い申し上げます。

平成28年10月

院長 渡邊 有三

春日井市民病院の基本理念

春日井市民病院は自治体病院として地域の医療にかかわる要望に誠実かつ不断に応えることを存立の意義とする。

基本方針

- 1 人権の尊重によって築かれる相互の信頼のもとに、医療を受けられる方の意思が反映された医療を行います。
- 2 正当な根拠に基づく良質で高水準の医療を効率的に行うために絶えず研鑽します。
- 3 急性期医療の拡充と専門医療の推進に努めます。
- 4 地域の基幹病院として、医療機関、介護サービス事業者、保健・福祉行政との連携を密にして地域完結型医療を推進します。
- 5 公営企業として健全な経営に努めます。

診療を受ける皆様の権利と守っていただく事項

春日井市民病院では診療を受ける皆様と、私たち病院職員の双方が互いに尊敬し、信頼し、協力しあって、初めてよい医療の提供ができると考えています。

相互に信頼し協力しあって医療を行うために、私たち病院職員は皆様に次に掲げる権利を約束するとともに、守っていただく事項をお知らせします。

〔皆様の権利〕

- 1 人権を尊重され、プライバシーを守られて診療を受けること
- 2 自分の病気や診療内容について、十分な説明を受けること
- 3 治療を選択する権利と、同意できない診療を拒否すること
- 4 診断や治療について、他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）をきくこと

〔皆様に守っていただく事項〕

- 1 自らの健康状態や治療中に生じた問題について病院職員に伝えること
- 2 院内では静粛を保ち、大声を発したりして他の方々に迷惑をかけること
- 3 医療費の支払いの請求を受けたときは、すみやかにお支払ください

個人情報保護方針

春日井市民病院（以下「当院」という。）では地域の医療にかかわる要望に誠実かつ不断に応えることを基本理念とし、当院を利用する皆様と当院の職員が、相互信頼のもとに良質で高度な医療を提供しています。皆様の個人情報についても、適切に保護し、管理することが非常に重要であると考えております。

そのため、当院では次のとおり個人情報保護方針を定め、確実な履行に努めます。

1 個人情報の収集について

当院が当院を利用する皆様の個人情報を収集する場合は、診療、看護および皆様の医療にかかわる範囲で行います。その他の目的で個人情報を収集する場合は、その利用目的をあらかじめお知らせし、同意を得た上で行います。

2 個人情報の利用および提供について

当院は当院を利用する皆様の個人情報の利用及び提供については、次のいずれかに該当する場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えません。

- (1) 本人の同意を得た場合
- (2) 法令等に基づく場合
- (3) 個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合

3 個人情報の適正管理について

当院は当院を利用する皆様の個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、漏洩、紛失、破壊、改ざん等の未然防止に努めます。

4 個人情報の確認・修正等について

当院は当院を利用する皆様の個人情報について、皆様から開示を求められた場合、当院の「診療情報の提供についての指針」に従って対応します。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、直ちに調査し、適切に対応します。

5 問い合わせ等の窓口について

個人情報保護方針や個人情報に関する皆様のお尋ねについては、医事課でお聞きいたします。

6 法令等の遵守と見直しについて

当院は個人情報に関する法令や市条例その他の規範を遵守するとともに、この指針の各項目の見直しを適宜行い、個人情報を保護するために最善の努力をいたします。

平成28年7月1日

個人情報保護管理者

春日井市民病院 院長

目 次

院長挨拶

春日井市民病院の基本理念・基本方針

個人情報保護方針

研究実績

受賞演題	1
著書	3
総説	3
論文	4
その他	7
国際学会	9
全国学会	9
地方学会・研究会	17
講演等	21
その他	24
地域研修会・交流会等	25
研修医CPC	31
剖検報告	32

病院概要

I 施設概要

1 沿革	33
2 歴代院長等	38
3 施設	40
4 施設基準等	41
5 各種指定医・指定医療機関等の状況	43
6 組織	45
7 職員数	46
8 主要医療器械備品	47

II 業務概要

1 入院者数	48
2 外来受診者数	50
3 入院・外来の患者構成と居住地区	52
4 医療連携事業	53
5 紹介・逆紹介患者数及び紹介率	53
6 診療時間外救急受入状況	54
7 手術等件数	55
8 人工透析件数	56
9 分娩件数	56

10	剖検件数	56
11	栄養指導等件数	56
12	処方せん枚数、薬剤管理指導件数	56
13	検査件数	56
14	放射線撮影件数	57
15	各種検診等	57
16	がん相談支援センター相談件数	57
17	特殊外来の状況	58
18	市民公開講座	59
Ⅲ 経理概要			
1	年度別収支状況		
	(1) 総括	60
	(2) 収益的収支	61
	(3) 資本的収支	62
2	貸借対照表	63
3	経営分析	66
	地域連携誌「Trinity」の発行	67
	病院新聞「さくら」の発行	68
	中日新聞「リンクト」LINKED	69
	市民病院フォトギャラリー	70

研究実績

受賞演題

<第28回日本サイコオンコロジー学会総会優秀演題賞>

当院緩和ケアチーム依頼時における せん妄の実態調査

長島 渉

春日井市民病院 メンタルヘルス科

【目的】 緩和ケアチーム（以下チーム）依頼を通じ、緩和ケア初診時のせん妄の実態把握を行った。また2014年6月以降当院が使用する症状スクリーニング（STAS-J）のせん妄部分を抽出しせん妄診断の有用性も調査した。

【方法】 2010年4月～2015年3月までに入院患者で当チームに依頼のあった患者が対象で、精神症状の依頼内容、依頼時せん妄の有無（DSM-IV-TR）、考えられる原因を調査した。

【結果】 上記期間内の新規依頼数は454名、その内依頼時点でせん妄状態であった患者は93名（20.5%）であった。考えられる原因は薬剤性が61名（65.6%）であり、その中でもオピオイドが55名と多く、オピオイドの中でフェンタニルクエン酸塩貼付剤が26名と最多であった。

せん妄患者93名の内精神症状の依頼でせん妄が挙げられたのは31名（6.8%）で、他の62名の内、依頼内容に精神症状が挙げられなかったのは43名であった。また2014年6月～2015年3月の間の依頼患者の内、症状スクリーニング使用者は73名で、依頼時にせん妄状態であったのは18名だがせん妄依頼に繋がったのは3名だった。

【考察】 せん妄発症の原因でオピオイドが多いことは知られているが、薬剤別ではフェンタニルクエン酸塩貼付剤が最多であった。一般的にフェンタニルクエン酸塩貼付剤はオピオイドの中ではせん妄を来しにくくオピオイドローテーションで勧められやすい薬剤であるが、タイトレーションを経ずに開始/増量に至るケースが半数近くみられた。チームとして具体的に適切な変薬の方法まで提案する必要があるだろう。せん妄が見逃されやすいことは様々報告があり、本調査でも見逃しが多く、せん妄患者の約半数は精神医学的問題を認識されていなかった。当院のスクリーニングでもせん妄の発見には不十分であった。せん妄は入院において頻度が高く治療の意思決定に大きな影響を及ぼすた

め、せん妄についてはCAMのようなツールをスクリーニングの中に特に盛り込む必要性があると考えられた。

<第289回東海外科学会会長特別賞>

膵十二指腸動脈アーケードの 動脈瘤を合併した 腹腔動脈起始部圧迫症候群の1例

伊藤 哲 山口 竜三 古田 美保
渡邊 真哉 會津 恵司 井原 努
藤田 広峰 三輪 知弘 榊原 昌志
山中 美歩 中橋 剛一 山本 泰資

春日井市民病院 外科

症例は34歳男性。特記すべき既往なし。高校生時から食事や運動と無関係な38度以上の高熱を伴う腹痛が月1～2回の頻度であった。数日で自然軽快したが近医では原因不明とされていた。同様の主訴で当院受診。白血球数とCRPの上昇を認めた。造影CTで腹腔動脈起始部のhook状の屈曲・狭窄、その周囲脂肪織濃度の上昇、膵十二指腸動脈アーケードの径8mmの瘤を認めた。上部下部内視鏡、カプセル内視鏡による消化管精査での異常はなかった。正中弓状靭帯圧迫による腹腔動脈起始部圧迫症候群と診断し、開腹下に正中弓状靭帯切離と動脈瘤切除を施行した。術中血管造影によって靭帯切離により総肝動脈血流が遠肝性から求肝性へ戻ることを確認したのち、動脈瘤を切除した。術後9日目退院し、以後症状は消失した。腹腔動脈起始部圧迫症候群に膵十二指腸動脈アーケードの動脈瘤を合併する報告はしばしばあるが、炎症所見を伴った報告はない。稀な症例と考えられたので報告する。

<第123回日本消化器病学会東海地方会若手奨励賞>

異なる経過をたどった急性壊死性食道炎の2例

小島 悠揮 平田 慶和 岡山 幸平
隈井 大介 山本 友輝 松本 朋子
管野 琢也 木村 幹俊 奥田 悠介
羽根田賢一 池内 寛和 森川 友祐
望月 寿人 高田 博樹 祖父江 聡

春日井市民病院 消化器科

【症例1】症例は59歳女性。意識障害と右臀部通を主訴に当院へ救急搬送された。壊死性筋膜炎、高血糖と脱水を認め入院となった。同日に黒色物嘔吐があり上部消化管内視鏡検査（EGD）を施行。全食道が全周性に黒色粘膜を呈しており急性壊死性食道炎と診断した。原疾患の治療、PPIと絶食で治療の方針とした。第12病日のEGDにて黒色粘膜は改善しており全周性の潰瘍となっていた。その後食事を開始したが食事の胸部つかえ感を自覚したため第42病日にEGDを施行。食道は全周性に硬化性のある粘膜に覆われており狭窄像を認めファイバー通過は不可能であった。ガストロ食道透視では中部食道からEGJまで10cm以上にわたり高度の狭窄像を呈していた。硬化性の粘膜であり狭窄部位が長く、バルーン拡張は適応外と考え、経口摂取が可能であったことから経過観察となった。その後狭窄は進行し、経口摂取困難となった。非開胸食道バイパス術施行し、現在は経口摂取可能な状態となった。

【症例2】症例は64歳男性。大量飲酒後からの意識障害と黒色物嘔吐を主訴に当院へ救急搬送され、緊急EGDを施行し、全食道に全周性の黒色粘膜を認め、急性壊死性食道炎と診断した。第9病日のEGDにて黒色粘膜の改善を認めたが、中部から下部食道にかけて軽度の狭窄があった。前症例を踏まえ、狭窄進行予防的に発症後早期よりバルーン拡張術を施行した。発症後第8週までに計12回のバルーン拡張術により高度狭窄に進行することなく経過した。その後下部食道の潰瘍の治癒のみ遷延し、同部位の癒痕狭窄に対しバルーン拡張術を施行する事が続いたため、バルーン拡張術後にステロイド局注を付加した。その後半年間の現在に至るまで再度拡張術を施行することなく経過している。

【考察】我々は急性壊死性食道炎という稀な疾患で経過の異なる2例を経験した。狭窄が危惧される急性壊死性食道炎に対して予防的なバルーン拡張術が有効であると考えられ、若干の文献的考察を加えて報告する。

<第123回日本消化器病学会東海地方会専修医奨励賞>

上部消化管内視鏡止血術後に 肝膿瘍を発症した1例

山本 友輝 平田 慶和 岡山 幸平
隈井 大介 小島 悠揮 菅野 琢也

松本 朋子 奥田 悠介 木村 幹俊
羽根田賢一 池内 寛和 森川 友祐
望月 寿人 高田 博樹 祖父江 聡
春日井市民病院 消化器科

【はじめに】出血性消化性潰瘍はしばしば遭遇する疾患である。内視鏡治療の発展に伴い初期治療として内視鏡的止血術が施行される頻度は高くなってきているが、合併症としての肝膿瘍の報告はほとんどされていない。

【症例】70歳男性 【主訴】吐血 【既往歴】糖尿病 【現病歴】吐血を主訴に当院を受診。緊急で上部消化管内視鏡検査を施行し、E-Gjunction直下の胃体上部後壁に露出血管伴うA1潰瘍を認めたため、止血鉗子（コアグラスパー®）を用いてソフト凝固モードで止血術を施行した。Second look内視鏡検査で止血を確認し第4病日より食事を開始した。第7病日より38℃の発熱・右季肋部痛が出現し、炎症反応の高値を認めたためにCT検査を施行。単純CTで肝S4、S5、S7に26mm、12mm、18mm大の入院時には認めなかった低吸収なSOLを認め、造影CTにてring状にenhanceされることから肝膿瘍と診断した。メロベネム3g/日で保存的加療を開始したが発熱は持続し、第12病日のCTでS4の膿瘍腔は70mmと著明な増大を認め、S5、S7の膿瘍腔も28mm、44mmと軽度の増大を認めた。S4の膿瘍は保存的加療のみでの治療は困難であると判断し、肝膿瘍穿刺ドレナージ術を施行した。排液の性状は悪臭を伴う乳白色・粘稠であり、細菌培養検査で起因菌としてklebsiellapneumoniaeが同定された。ドレナージ施行翌日より解熱が得られ炎症反応も徐々に改善を認め、第39病日のCTですべての肝膿瘍の縮小を確認し、第44病日に退院となった。肝膿瘍の原因検索のため入院中に行われたMRCPでは胆管系に異常を認めず、下部消化管内視鏡検査でも異常を認めなかった。また胃潰瘍止血術6日後に発症した肝膿瘍であるという臨床経過より総合的に今回の肝膿瘍の原因は胃潰瘍に対する止血術であったと考えられた。

【結語】今回われわれは上部消化管内視鏡止血術後に肝膿瘍を発症した1例を経験したので、若干の文献的考察を加えて報告する。

著 書

- ナースのための透析ハンドブック（改訂4版）
（医薬ジャーナル社）55～58, 2015

第5章 透析患者の身体異常とその対応

渡邊 有三
春日井市民病院 院長

- 第7版 腎臓内科レジデントマニュアル(改訂第7版)
（診断と治療社）574～576, 2015

腎疾患治療薬の使い方のコツ

成瀬 友彦
春日井市民病院 内科

- 感染管理・感染症看護テキスト
（照林社）419～421, 2015

V-6. 消化器系感染症患者への看護

伴 信義
春日井市民病院 病院安全推進室

総 説

- 透析ケア：Vol.22（3）234～235, 2016

透析患者では血圧は高すぎても 低すぎてもよくない

渡邊 有三
春日井市民病院 院長

- 腎と透析：Vol.79 22～25, 2015

特集：新しい腎性貧血ガイドラインへの期待 世界のガイドライン：日本とどう違っていたのか

渡邊 有三
春日井市民病院 院長

● ClinExpNephrol. 2016 (1)

A prospective observational study of early intervention with erythropoietin therapy and renal survival in non-dialysis chronic kidney disease patients with anemia: JET-STREAM Study.

Tadao Akisawa¹⁾, Yoshiharu Tsubakihara²⁾, Hideki Hirakata³⁾, Yuzo Watanabe⁴⁾, Hiroki Hase⁵⁾, Shinichi Nishi⁶⁾, Tetsuya Babazono⁷⁾, Michiko Kumagai⁸⁾, Shingo Katakura⁹⁾, Yukari Uemura¹⁰⁾, Yasuo Ohashi¹¹⁾. JET-STREAM study group.

¹⁾Division of Nephrology, Department of Medicine, Showa University School of Medicine

²⁾Course of Safety Management in Health Care Sciences, Graduate School of Health Care Sciences, Jikei Institute

³⁾Division of Nephrology and Dialysis Center, Japanese Red Cross Fukuoka Hospital

⁴⁾Department of Internal Medicine, Kasugai Municipal Hospital

⁵⁾Department of Nephrology, Toho University Ohashi Medical Center

⁶⁾Division of Nephrology and Kidney Center, Kobe University Graduate School of Medicine

⁷⁾Division of Nephrology and Hypertension, Diabetes Center, Tokyo Women's Medical University School of Medicine

⁸⁾Pharmacovigilance Department, Chugai Pharmaceutical Co. Ltd

⁹⁾Pharmacovigilance Department, Chugai Pharmaceutical Co. Ltd

¹⁰⁾Biostatistics Division, Clinical Research Support Center, The University of Tokyo

¹¹⁾Department of Integrated Science and Engineering for Sustainable Society, Chuo University

● Therapeutic Apheresis and Dialysis: Vol.19(6) 529~539, 2015

Peritoneal Dialysis Registry with 2012 Survey Report

Takeshi Hasegawa^{1), 2)}, Shigeru Nakai^{1), 2)}, Misaki Moriishi¹⁾, Yasuhiko Ito¹⁾, Noritomo

Itami^{1), 2)}, Ikuto Masakane^{1), 2)}, Norio Hanafusa²⁾, Masatomo Taniguchi²⁾, Takayuki Hamano²⁾, Tetsuo Shoji²⁾, Kunihiro Yamagata²⁾, Toshio Shinoda²⁾, Junichiro Kazama²⁾, Yuzo Watanabe²⁾, Takashi Shigematsu²⁾, Seiji Marubayashi²⁾, Osamu Morita²⁾, Atsushi Wada²⁾, Seiji Hashimoto²⁾, Kazuyuki Suzuki²⁾, Naoki Kimata²⁾, Kenji Wakai²⁾, Naohiko Fujii²⁾, Satoshi Ogata²⁾, Kenji Tsuchida²⁾, Hiroshi Nishi²⁾, Kunitoshi Iseki²⁾, Yoshiharu Tsubakihara²⁾ and Hidetomo Nakamoto^{1), 2)}

¹⁾Subcommittee of PD Registry, Statistical Survey Committee, Japanese Society for Dialysis Therapy

²⁾Subcommittee of Statistical Analysis, Statistical Survey Committee, Japanese Society for Dialysis Therapy

● American Journal of Kidney Diseases : Vol.65 (6) 899~904, 2015

Dialysis fluid endotoxin level and mortality in maintenance hemodialysis: a nationwide cohort study.

Takeshi Hasegawa^{1), 2), 3)}, Shigeru Nakai^{3), 4)}, Ikuto Masakane^{3), 5)}, Yuzo Watanabe^{3), 6)}, Kunitoshi Iseki^{3), 7)}, Yoshiharu Tsubakihara^{3), 8)}, Tadao Akizawa⁹⁾

¹⁾Center for Innovative Research for Communities and Clinical Excellence, Fukushima Medical University

²⁾Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Showa University Fujigaoka Hospital

³⁾Committee of Renal Data Registry, the Japanese Society for Dialysis Therapy

⁴⁾Fujita Health University

⁵⁾Yabuki Hospital

⁶⁾Kasugai Municipal Hospital

⁷⁾Faculty of Medicine, University of Ryukyus

⁸⁾Graduate School of Medicine, Osaka University

⁹⁾Division of Nephrology, Department of Medicine, Showa University School of Medicine

- Clinical and Experimental Nephrology :
Vol.19 (3) 521~526, 2015

Efficacy and safety of fluoroscopic manipulation using the alpha-replacer for peritoneal catheter malposition

Yosuke Saka¹⁾, Yasuhiko Ito²⁾, Yoshiyasu Iida³⁾, Shoichi Maruyama²⁾, Seiichi Matsuo²⁾

¹⁾Department of Internal Medicine, Kasugai Municipal Hospital

²⁾Department of Nephrology, Nagoya University Graduate School of Medicine

³⁾Department of Nephrology, Yokkaichi Municipal Hospital

- Internal Medicine : Vol.54 (23)
2961~2967, 2015

Efficacy of Contrast-enhanced Computed Tomography for the Treatment Strategy of Colonic Diverticular Bleeding

Tomoya Sugiyama, Yoshikazu Hirata, Yuki Kojima, Takuya Kanno, Mikitoshi Kimura, Yusuke Okuda, Kenichi Haneda, Hirokazu Ikeuchi, Tomohiro Morikawa, Hisato Mochizuki, Hiroki Takada, Satoshi Sobue

Department of Gastroenterology, Kasugai Municipal Hospital

- Journal of Cardiology

Clinical characteristics of patients hospitalized for acute heart failure according to hospital arrival timing

Mitsutoshi Oguri¹⁾, Hideki Ishii²⁾, Kenichiro Yasuda³⁾, Hiroshi Kawanishi³⁾, Yoshihiro Hanaki⁴⁾, Haruo Kamiya³⁾, Tatsuaki Matsubara⁴⁾, Toyoaki Murohara²⁾

¹⁾Department of Cardiology, Kasugai Municipal Hospital

²⁾Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine

³⁾Department of Cardiology, Japanese Red Cross

Nagoya First Hospital

⁴⁾Emergency and Critical Care Medicine, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital

⁵⁾Department of Internal Medicine, School of Dentistry, Aichi Gakuin University

- Journal of Infection and Chemotherapy :
Vol.21 (6) 410~420, 2015

Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the surveillance committee of Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for Clinical Microbiology in 2010: General view of the pathogens' antibacterial susceptibility

Katsunori Yanagihara^{a,as}, Junichi Kadota^{a,ad}, Nobuki Aoki^{a,d}, Tetsuya Matsumoto^a, Masaki Yoshida^a, Morimasa Yagisawa^a, Toyoko Oguri^a, Junko Sato^a, Kazuhiko Ogasawara^a, Tomotaro Wakamura^a, Keisuke Sunakawa^a, Akira Watanabe^a, Satoshi Iwata^a, Mitsuo Kaku^a, Hideaki Hanaki^b, Yoshinobu Ohsaki^c, Tomohisa Watari^c, Eri Toyoshima^c, Kenichi Takeuchi^d, Mayumi Shiokoshi^d, Hiroaki Takeda^e, Makoto Miki^f, Toshio Kumagai^f, Susumu Nakanowatari^f, Hiroshi Takahashi^g, Mutsuko Utagawa^g, Hajime Nishiya^h, Sayoko Kawakami^h, Nobuyuki Kobayashiⁱ, Jin Takasakiⁱ, Kazuhisa Mezakiⁱ, Hisami Konosakiⁱ, Yasuko Aoki^j, Yumiko Yamamoto^j, Michi Shoji^j, Hajime Goto^k, Takeshi Saraya^k, Daisuke Kurai^k, Mitsuhiro Okazaki^k, Yoshihito Niki^l, Koichiro Yoshida^l, Akihiko Kawana^m, Katsu Saionji^m, Yuji Fujikura^m, Naoki Miyazawaⁿ, Makoto Kudoⁿ, Yoshimi Satoⁿ, Masaki Yamamotoⁿ, Takashi Yoshida^o, Masahiko Nakamura^o, Hiroki Tsukada^p, Yumiko Imai^p, Ayami Tsukada^p, Satoshi Kawasaki^q, Yasuo Honma^q, Toshinobu Yamamoto^r, Nobuyoshi Ban^r.

Hiroshige, Mikamo⁵, Haruki Sawamura⁵, Takayuki Miyara[†], Hirofumi Toda[†], Kaori Sato[†], Tadahiro Nakamura[‡], Yasunori Fujikawa[‡], Noriko Mitsuno[‡], Keiichi Mikasa[‡], Kei Kasahara[‡], Reiko Sano[‡], Keisuke Sugimoto[‡], Seishi Asari[‡], Isao Nishi[‡], Masahiro Toyokawa[‡], Naoyuki Miyashita[‡], Yutaka Koguchi[‡], Nobuchika Kusano[‡], Eiichirou Mihara[‡], Masao Kuwabara[‡], Yaeko Watanabe[‡], Yuji Kawasaki[‡], Kenichi Takeda[‡], Hirokazu Tokuyasu[‡], Kayoko Masui[‡], Kiyoshi Negayama[‡], Kazufumi Hiramatsu[‡], Yosuke Aoki[‡], Mami Fukuoka[‡], Hiroki Magarifuchi[‡], Zenzo Nagasawa[‡], Moritaka Suga[‡], Hiroyuki Muranaka[‡], Yoshitomo Morinaga[‡], Junichi Honda[‡], Masaki Fujita[‡]

- ^a The Surveillance Committee of Japanese Society of Chemotherapy (JSC), The Japanese Association for Infectious Diseases (JAID) and The Japanese Society for Clinical Microbiology (JSCM), Tokyo, Japan
- ^b The Kitasato Institute, Tokyo, Japan
- ^c Asahikawa Medical University, Hokkaido, Japan
- ^d Iwate Prefectural Central Hospital, Iwate, Japan
- ^e Saiseikai Yamagata Saisei Hospital, Yamagata, Japan
- ^f Japanese Red Cross Sendai Hospital, Miyagi, Japan
- ^g Saka General Hospital, Miyagi, Japan
- ^h Teikyo University School of Medicine, Tokyo, Japan
- ⁱ National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan
- ^j National Hospital Organization Tokyo Medical Center, Tokyo, Japan
- ^k Kyorin University Hospital, Tokyo, Japan
- ^l Showa University, School of Medicine, Tokyo, Japan
- ^m National Defense Medical College, Saitama, Japan
- ⁿ Yokohama City University Hospital, Kanagawa, Japan
- ^o Toyama Prefectural Central Hospital, Toyama, Japan
- ^p Niigata City General Hospital, Niigata, Japan
- ^q Shinrakuen Hospital, Niigata, Japan
- ^r Kasugai Municipal Hospital, Aichi, Japan
- ^s Aichi Medical University Hospital, Aichi, Japan
- ^t Kinki University, Faculty of Medicine, Osaka, Japan
- ^u Osaka City General Hospital, Osaka, Japan

- ^v Center for Infectious Diseases, Nara Medical University, Nara, Japan
- ^w Kobe Red Cross Hospital, Hyogo, Japan
- ^x Osaka University Hospital, Osaka, Japan
- ^y Kawasaki Medical School, Okayama, Japan
- ^z Okayama University Hospital, Okayama, Japan
- ^{aa} Hiroshima Prefectural Hospital, Hiroshima, Japan
- ^{ab} Matsue Red Cross Hospital, Shimane, Japan
- ^{ac} Kagawa University Hospital, Kagawa, Japan
- ^{ad} Oita University Faculty of Medicine, Oita, Japan
- ^{ae} Saga University, School of Medicine, Saga, Japan
- ^{af} Saiseikai Kumamoto Hospital, Kumamoto, Japan
- ^{ag} Nagasaki University School of Medicine, Nagasaki, Japan
- ^{ah} St. Mary's Hospital, Fukuoka, Japan
- ^{ai} Faculty of Medicine, Fukuoka University, Fukuoka, Fukuoka, Japan

●日本臨床外科学会雑誌：Vol.77 (2)
307～311, 2016

ベバシズマブ治療中急速拡大・破裂した腹部大動脈瘤の1例

湯川 貴史 井原 努 山口 竜三
春日井市民病院 外科

●周産期医学：Vol.45 (8) 1165～1168, 2015

分娩時の会陰切開創に発症した壊疽性膿皮症の1例

佐々木裕子 玉内 学志 下村 裕司
早川 博生
春日井市民病院 産婦人科

●東海産科婦人科学会雑誌：Vol.52
269～273, 2015

子宮留膿腫の穿孔に伴う急性汎発性腹膜炎の一例

佐々木裕子 下村 裕司 前田千花子
玉内 学志 佐藤麻美子 石原 美紀
奥村 敦子 早川 博生
春日井市民病院 産婦人科

- 産婦人科の実際：Vol.64（7）969～974, 2015

自宅にて意識障害で発見された妊娠 子癇の2例

玉内 学志¹⁾ 佐々木裕子¹⁾ 前田千花子¹⁾
佐藤麻美子¹⁾ 石原 美紀¹⁾ 奥村 敦子¹⁾
下村 裕司¹⁾ 早川 博生¹⁾ 大野 泰正²⁾

¹⁾春日井市民病院 産婦人科

²⁾大野レディスクリニック

- 頭頸部癌：Vol.41（1）40～50, 2015

超選択的動注療法を用いた化学放射 線療法後の rim enhancement を伴う 口腔癌頸部転移リンパ節のCT画像の 経時的変化

丹下 和久¹⁾ 中島 克仁¹⁾ 脇田 壮¹⁾
北島正一郎¹⁾ 福田 幸太²⁾

¹⁾春日井市民病院 口腔外科

²⁾愛知学院大学 歯学部顎口腔外科学講座

- 第46回日本看護学会論文集：76～79, 2016

新たな役割をもつ副師長が捉えた 課題の変化 —新看護提供システムの導入をして—

鈴江 智恵

春日井市民病院 看護局

- 第46回日本看護学会論文集：155～158, 2016

既卒看護師の組織再社会化 —学習課題因子と必要とされる支援—

田垣美紀子

春日井市民病院 看護局

その他

- Nephrology Frontier：Vol.14（3）
208～215, 2015

Round Table Discussion; CKDと認 知機能障害

柏原 直樹¹⁾ 鈴木 隆雄²⁾ 鶴屋 和彦³⁾
渡邊 有三⁴⁾

¹⁾川崎医科大学腎臓・高血圧内科学 教授

²⁾桜美林大学加齢発達研究所 所長 / 国立長寿医療研究
センター 理事長特任補佐

³⁾九州大学大学院医学研究院包括的腎不全治療学 准教授

⁴⁾春日井市民病院 病院長

- 愛知県病院協会 会報265号

「今どきの若者は」団塊おじさんか ら見た若者観

渡邊 有三

春日井市民病院 院長

- 全国自治体病院協会雑誌 2016

新春随想：医療と経営について思う

渡邊 有三

春日井市民病院 院長

- 日本病院会愛知県支部 会報

最近嬉しかったこと

渡邊 有三

春日井市民病院 院長

- 日本病院会愛知県支部 会報

終の棲家を考える

渡邊 有三

春日井市民病院 院長

●愛知県病院薬剤師会雑誌：Vol.43 (3) 4~8, 2015

腹膜透析の概説と、当院における腹膜透析患者の傾向

浅野 嘉之

春日井市民病院 薬剤部

国際学会

●内科

学会名／演題	氏名	日付／場所
16th Congress of the ISPD DAILY LIFE OF ELDERLY PATIENTS ON INCIDENT PERITONEAL DIALYSIS COMPARED TO HEMODIALYSIS	坂 洋祐	2016年2月27日～3月2日 メルボルン

●循環器科

学会名／演題	氏名	日付／場所
European Society of Cardiology Congress 2015 Association of Genetic Variants of the Alpha-kinase 1 Gene with Type2 Diabetes Mellitus in a Longitudinal Population-based Genetic Epidemiological Study	小栗 光俊	2015年8月29日～9月2日 イギリス

●整形外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
ORS 2016 Annual Meeting Anterolateral ligament injury increases rotational instability in ACL deficient knee	村瀬 熱紀	2016年3月5日～8日 アメリカ

●脳神経外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
15th Interim Meeting of the WFNS Expansive artery remodeling : risk factor for ische miccomplication after carotid artery surgery ?	林 重正	2015年9月8日～12日 ローマ

●リハビリテーション技術室

学会名／演題	氏名	日付／場所
WCPT Congress 2015 Early mobilization after gastrointestinal surgery may inhibit delirium	山下 裕	2015年5月1日～4日 シンガポール

全国学会

●院長

学会名／演題	氏名	日付／場所
第6回日本腎臓リハビリテーション学会 「特別講演」 高齢透析患者増加に対する問題点と腎臓リハビリテーション	渡邊 有三	2016年3月26日～27日 岡山

●内科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第58回日本腎臓学会学術総会 CKDステージG4・G5患者におけるトリクロルメチアジドの降圧および蛋白尿減少効果	坂 洋祐	2015年6月5日～6日 名古屋市

学会名／演題	氏名	日付／場所
第58回日本腎臓学会学術総会 腹膜透析患者における血清亜鉛濃度とタンパク摂取量の関連	坂 洋祐	2015年6月5日～6日 名古屋市
第60回日本透析医学会学術集会 自己血管内シャント感染に感染性心内膜炎を合併した1割検例	唐澤 宗稔	2015年6月25日～27日 神奈川
第60回日本透析医学会学術集会 透析導入期のβ2ミクログロブリン値が予後に及ぼす影響について	谷口 容平	2015年6月25日～27日 神奈川
第60回日本透析医学会学術集会 透析導入時の血清Cl濃度は透析導入後の予後を予測する	坂 洋祐	2015年6月25日～27日 神奈川
第45回日本腎臓学会西部学術大会 再発した管内増殖性糸球体腎炎の一例	永原 靖子	2015年10月22日～24日 石川
第45回日本腎臓学会西部学術大会 MPO-ANCA関連血管炎の経過中に大動脈解離を発症した一例	山下 良子	2015年10月22日～24日 石川
第18回日本腎不全看護学会学術集会・総会 腎性貧血～様々な疑問に答えます～	成瀬 友彦	2015年11月14日 名古屋市

●メンタルヘルス科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第28回日本サイコオンコロジー学会総会 当院緩和ケアチーム依頼時におけるせん妄の実態調査	長島 渉	2015年9月17日～18日 広島

●神経内科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第56回日本神経学会学術大会 発症から来院時間に注目した脳梗塞tPA治療に関する検討	數田 知之	2015年5月20日～23日 新潟
第33回日本神経治療学会総会 筋萎縮性側索硬化症における耐糖能異常	荒木 周	2015年11月26日～28日 名古屋市
第33回日本神経治療学会総会 意識レベルと治療開始時間からみた脳梗塞tPA治療	遠藤 利洋	2015年11月26日～28日 名古屋市
第33回日本神経治療学会総会 初診時NIHSS値からみた脳梗塞tPA治療の有効性	數田 知之	2015年11月26日～28日 名古屋市
第33回日本神経治療学会総会 発症年齢からみた脳梗塞tPA静注療法の効果	鳥居 良太	2015年11月26日～28日 名古屋市
第33回日本神経治療学会総会 脳梗塞rt-PA 適正使用講習会：アルテプラゼ静注療法の実際	寺尾 心一	2015年11月26日～28日 名古屋市

●呼吸器科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第64回日本アレルギー学会学術大会 薬剤師に対する教育は指導モチベーションの強化に有用である	岩田 晋	2015年5月27日 東京
第38回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 精査過程で気管支鏡検査を施行し、最終的に肺結核の診断に至った症例の検討	岩木 舞	2015年6月10日～12日 東京
第38回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 DirectPath導入における仮想気管支鏡	岩田 晋	2015年6月10日～12日 東京

●消化器科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第23回日本消化器病学会大会 原因不明消化管出血の検討—出血病態別にみたバルーン内視鏡とカプセル内視鏡の比較	奥田 悠介	2015年10月8日～11日 東京
第90回日本消化器内視鏡学会総会 胃ESDにおけるデクスメトミジンの有用性の検討	管野 琢也	2015年10月8日～11日 東京

●循環器科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第80回日本循環器学会学術集会 Association of Genetic Variants of the Alpha-kinase 1 Gene with Type2 Diabetes Mellitus in a Longitudinal Population-based Genetic Epidemiological Study	小栗 光俊	2016年3月18日～20日 宮城
第80回日本循環器学会学術集会 Association of Body Mass Index with Clinical Parameters and Conditions in a Longitudinal Population-based Epidemiological Study	小栗 光俊	2016年3月18日～20日 宮城
第80回日本循環器学会学術集会 Effects of Physical Function on Short-term Outcomes in Patients Hospitalized for Acute Heart Failure	滝川 智信	2016年3月18日～20日 宮城
第80回日本循環器学会学術集会 Assessment of Multiple Nutrition Screening Indexes in Patients Hospitalized for Acute Heart Failure	滝川 智信	2016年3月18日～20日 宮城
第80回日本循環器学会学術集会 Association of genetic variants with hypertension in a longitudinal population-based genetic epidemiological study	墨 卓哉	2016年3月18日～20日 宮城
第80回日本循環器学会学術集会 Association of renal function with clinical parameters and conditions in a longitudinal population-based epidemiological study	墨 卓哉	2016年3月18日～20日 宮城

●小児科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第118回日本小児科学会学術集会 非典型的なLeigh様脳症を呈したHIBCH欠損の姉妹例	星野 伸	2015年4月16日～19日 大阪
第118回日本小児科学会学術集会 血小板減少から診断に至った先天性肝線維症の1例	石黒 智紀	2015年4月16日～19日 大阪
第47回日本小児感染症学会総会・学術集会 初診時にプロカルシトニン陽性、CRP陰性であった106例の検討	星野 伸	2015年10月31日 ～11月1日 福島

●外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第115回日本外科学会定期学術集会 結腸直腸癌に対する骨盤内臓全摘後の腹直筋による死腔炎予防の検討	渡邊 真哉	2015年4月16日～18日 名古屋市
第115回日本外科学会定期学術集会 胃癌・大腸癌の再発による消化管閉塞に対する緩和的外科手術症例の検討	笹本 彰紀	2015年4月16日～18日 名古屋市

学会名／演題	氏名	日付／場所
第115回日本外科学会定期学術集会 大腸癌に対する、手術の質を落とさないReduced Port Surgery	有元 淳記	2015年4月16日～18日 名古屋市
第115回日本外科学会定期学術集会 門脈ガス血症を呈した急性腹症の検討	山本 泰資	2015年4月16日～18日 名古屋市
第23回日本乳癌学会学術総会 乳癌骨転移に対するビスフォスフォネート製剤長期治療中に発症した同時性両側非定型大腿骨骨折の1例	古田 美保	2015年7月2日～4日 東京
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会 乳癌骨転移に対する骨修飾薬（BMA）長期治療症例の検討	古田 美保	2015年7月16日～18日 北海道
第53回日本癌治療学会学術集会 主治医と外来化学療法センターをつなぐテンプレートの導入と運用	古田 美保	2015年10月29日～31日 京都
第77回日本臨床外科学会総会 術前腹臥位CTが有用であったTAPPで治療した膀胱ヘルニア5例	渡邊 真哉	2015年11月26日～28日 福岡
第77回日本臨床外科学会総会 有症状の肝嚢胞性疾患に対し手術を施行した5例	山中 美歩	2015年11月26日～28日 福岡
第77回日本臨床外科学会総会 当科における腔空腸2層吻合の工夫	中橋 剛一	2015年11月26日～28日 福岡
第28回日本内視鏡外科学会総会 専修医が行う腹腔鏡下胆嚢摘除術	山本 泰資	2015年12月10日～12日 大阪
第28回日本内視鏡外科学会総会 TAPPで治療した両側腹膜外型膀胱ヘルニアの1例	渡邊 真哉	2015年12月10日～12日 大阪
第28回日本内視鏡外科学会総会 肝硬変（f4）症例に対する腹腔鏡下肝切除の工夫と成績	山口 竜三	2015年12月10日～12日 大阪
第28回日本内視鏡外科学会総会 部分的脾動脈塞栓（PSE）を先行した血小板減少を伴う肝硬変合併肝癌に対する腹腔鏡下肝切除の3例の検討	山中 美歩	2015年12月10日～12日 大阪

●整形外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第88回日本整形外科学会学術総会 ジャイロスコープを使用したPivot shift test定量評価の検討	村瀬 熱紀	2015年5月23日～24日 兵庫
第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 Inertial sensorを使用したPivot shift test定量評価	村瀬 熱紀	2015年6月17日～20日 北海道
第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 Inertial sensorを使用した前十字靭帯損傷膝の回旋不安定性評価	村瀬 熱紀	2015年6月17日～20日 北海道
第41回日本骨折治療学会 鎖骨骨幹部骨折に対しLCPでの骨接合術後再骨折を起こした2例	鈴木 浩之	2015年6月26日～27日 奈良
第41回日本骨折治療学会 Twinsによる大腿骨頸部骨折治療の手術成績	柴田 淳	2015年6月26日～27日 奈良
第54回全国自治体病院学会 自在金具とカラビナを使用した創外固定挙上法	鈴木 浩之	2015年10月8日～9日 北海道
第30回日本整形外科学会基礎学術集会 慣性センサーを使用した前十字靭帯損傷膝の回旋不安定性定量評価 骨固定と皮膚固定の比較 新鮮屍体膝を用いた検討	村瀬 熱紀	2015年10月22日～23日 富山

学会名／演題	氏名	日付／場所
第29回日本創外固定・骨延長学会 自在金具とカラビナを使用した創外固定挙上法	鈴木 浩之	2016年3月17日～20日 石川

●**脳神経外科**

学会名／演題	氏名	日付／場所
第39回日本脳神経CI学会総会 MRIを用いた脳動脈瘤の血流解析 CFDとの比較	内藤 丈裕	2016年1月29日～30日 東京

●**産婦人科**

学会名／演題	氏名	日付／場所
第67回日本産婦人科学会学術講演会 妊娠糖尿病（GDM）を疑い、75gOGTTを施行した症例に対する検討	前田千花子	2015年4月9日～12日 神奈川

●**耳鼻いんこう科**

学会名／演題	氏名	日付／場所
第77回耳鼻咽喉科臨床学会総会 鼻腔に発生したalveolar soft part sarcomaの1例	佐藤 雄二	2015年6月25日～26日 静岡

●**麻酔科**

学会名／演題	氏名	日付／場所
第62回日本麻酔科学会学術集会 シンポジウム「救命士の気管挿管」	森田 麻己	2015年5月28日～30日 兵庫

●**歯科口腔外科**

学会名／演題	氏名	日付／場所
第69回日本口腔科学会学術集会 放射線治療の併用のない超選択的動注化学療法のみで治療した上顎歯肉癌の1例	丹下 和久	2015年5月13日～15日 大阪
第39回日本頭頸部癌学会 第4回アジア頭頸部癌学会 血管塞栓術により消失した転移性口腔癌の2例	丹下 和久	2015年6月3日～6日 兵庫
第60回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 口腔癌の外科的切除回避を目的とした新技法による超選択的動注化学放射線療法	丹下 和久	2015年10月16日～18日 名古屋市
第60回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 転移性口腔癌における血管塞栓術の有用性 —QOLの改善が得られた1例—	脇田 壮	2015年10月16日～18日 名古屋市
第34回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 当科における口腔癌に対する超選択的動注化学放射線療法による頸部リンパ節制御に関する検討	丹下 和久	2016年1月21日～22日 神奈川

●**血管内治療センター**

学会名／演題	氏名	日付／場所
第21回日本血管内治療学会 上腹部手術後出血に対する血管内治療の3例	井原 努	2015年7月24日～25日 名古屋市

●看護局

学会名／演題	氏名	日付／場所
第20回日本緩和医療学会 症状緩和クリニカルパスの作成・運用と今後の課題	森本 優子	2015年6月18日～20日 神奈川
第20回日本緩和医療学会 苦痛のスクリーニングの取り組みと今後の課題	崎山奈津子	2015年6月18日～20日 神奈川
第17回日本災害看護学会年次大会 病院看護部での防災訓練に机上訓練を取り入れた試み	太田 有亮	2015年8月8日～9日 宮城
第46回日本看護学会—看護管理—学術集会 新たな役割をもつ副師長が捉えた課題の変化 —新看護提供システムの導入をして—	鈴江 智恵	2015年9月7日～9日 福岡
第46回日本看護学会—看護管理—学術集会 既卒看護師の組織再社会化 —学習課題因子と必要とされる支援—	田垣美紀子	2015年9月7日～9日 福岡
第20回日本糖尿病教育・看護学会学術集会 病棟と外来の一元化による糖尿病患者への療養指導の現状	野中ひろみ	2015年9月21日～22日 香川
第17回日本救急看護学会学術集会 救急外来での防災訓練についての考察 —災害机上訓練の経験から—	太田 有亮	2015年10月15日～17日 佐賀
第17回日本救急看護学会学術集会 シミュレーショントレーニングにおける習熟度の均質化にファシリ テーションは有用か	河合 豊	2015年10月15日～17日 佐賀
第53回日本医療・病院管理学会学術総会 看護管理者のストレス緩和要因と職務経験との関連 —首尾一貫感覚（SOC）に着目して—	上村 睦美	2015年11月4日～6日 福岡
第18回日本腎不全看護学会学術集会・総会 病棟と透析センターの一元化によるスタッフ教育について	鈴木美和子	2015年11月14日～15日 名古屋市
第18回日本腎不全看護学会学術集会・総会 当院における腎臓病教室の効果と有用性について	山田 洋子	2015年11月14日～15日 名古屋市
第18回日本腎不全看護学会学術集会・総会 透析センターにおける抗がん剤暴露対策の取り組み	川口かおり	2015年11月14日～15日 名古屋市
第33回日本神経治療学会総会 座位バランス改善を目的とした看護実践	清原 達観	2015年11月27日 名古屋市
第21回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 地域連携腹膜透析研修会開催までの取り組み	鈴木美和子	2015年11月27日～29日 宮城
第21回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 高齢者腹膜透析導入における課題	山田 洋子	2015年11月27日～29日 宮城
第21回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 高齢者に「つなぐ」を導入した症例	田野 了子	2015年11月27日～29日 宮城
第21回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 高齢者の腹膜透析導入における地域への取り組み	山本 幸子	2015年11月27日～29日 宮城
第31回日本環境感染学会総会・学術集会 A病院における清拭タオルの現状とその後の運用	三輪 幸	2016年2月19日～20日 京都

●薬剤部

学会名／演題	氏名	日付／場所
第18回日本医薬品情報学会総会・学術大会 Japanese Adverse Drug Event Report databaseを用いた睡眠薬による転倒リスク調査	福井 悠美	2015年6月27日～28日 岡山
第23回日本乳癌学会学術総会 乳がんにおけるCEF療法時の悪心嘔吐観察研究	前田 剛司	2015年7月2日～4日 東京
第23回クリニカルファーマシーシンポジウム医療薬学フォーラム2015 薬薬連携を目的とした研修会受講後の薬剤師の意識調査	田中 伸明	2015年7月4日～5日 名古屋市
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会 地方中核公立病院におけるCDTMを取り入れたがん専門薬剤師の取り組み	鈴木 敦詞	2015年7月15日～18日 北海道
第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会 病院と行政が協同して行う糖尿病の2次予防を目的とした「世界糖尿病デー in春日井」の開催について	服部 芳明	2015年9月25日～27日 新潟
第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会 春日井市民病院における1型糖尿病患者の持効型インスリン使用状況調査	田中 伸明	2015年9月25日～27日 新潟
第9回日本緩和医療薬学会年会 がん疼痛治療における経口トラマドールの有用性と副作用	前田 剛司	2015年10月2日～4日 神奈川
第9回日本緩和医療薬学会年会 肝機能検査値から見たオピオイドスイッチングにおける用量設定	松原 怜	2015年10月2日～4日 神奈川
第54回全国自治体病院学会 外来受診時に行う手術オリエンテーションにおける薬剤部の取り組み	佐々木夕夏	2015年10月8日～9日 北海道
第9回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2015 薬剤師による抗MRSA薬使用前と使用後の投与設計および腎機能障害に関する検討	稲垣 志郎	2015年10月24日～25日 宮城
第53回日本癌治療学会学術集会 Experience with Enzalutamide treatment for castration-resistant prostate cancer at Kasugai Municipal Hospital	鈴木 敦詞	2015年10月29日～31日 京都
第25回日本医療薬学会年会 PMDA副作用自発報告を活用したリユープロレリン酢酸塩による高血糖の有害事象調査	田中 伸明	2015年11月21日～23日 神奈川
第25回日本医療薬学会年会 大腸がん薬薬連携における病院と保険薬局間の情報提供内容に関する調査	鈴木 大吾	2015年11月21日～23日 神奈川
第25回日本医療薬学会年会 当院でのジギタリス製剤の使用動向	大岩 拓馬	2015年11月21日～23日 神奈川
第25回日本医療薬学会年会 経口分子標的薬の適正使用に関わるCDTMとその有効性について	鈴木 敦詞	2015年11月21日～23日 神奈川
第25回日本医療薬学会年会 乳がん術後補助療法における地域薬薬連携システムの構築	松原 怜	2015年11月21日～23日 神奈川
第25回日本医療薬学会年会 持参薬からの切り替え処方監査時における当院の取り組みと過誤に関する調査	浅川 唯	2015年11月21日～23日 神奈川

学会名／演題	氏名	日付／場所
第25回日本医療薬学会年会 外来における手術前調査の件数と手術延期の有無に関する調査	牧 なつみ	2015年11月21日～23日 神奈川
第31回日本静脈経腸栄養学会学術集会 春日井市民病院におけるS1+CDDP療法患者のがん悪液質状態調査	田中 伸明	2016年2月24日～26日 福岡
日本臨床腫瘍学会学術大会2016 去勢抵抗性前立腺がんに対する新規ホルモン剤使用状況と共同薬物治療管理	鈴木 敦詞	2016年3月11日～13日 鹿児島

●病理部

学会名／演題	氏名	日付／場所
第56回日本肺癌学会学術集会 胸腺腫の病理診断：WHO分類改訂の要点	立山 尚	2015年11月26日～28日 神奈川
第35日本画像医学会 胸腺上皮性腫瘍の病理学的特徴	立山 尚	2016年2月26日～27日 東京

●臨床検査技術室

学会名／演題	氏名	日付／場所
平成27年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第54回） 不規則抗体スクリーニング検査における酵素法省略の検討	神野 洋彰	2015年9月26日～27日 静岡
日本臨床検査自動化学会第47回大会 実践POCコーディネーター！～血糖装置管理から始め、遭遇した課題とその展開～	後藤 慎一	2015年10月8日～10日 神奈川
第54回日本臨床細胞学会総会秋期大会 セルブロックが診断に有用であった二相型胸膜悪性中皮腫の一例	齋藤 知央	2015年11月21日～22日 名古屋市

●リハビリテーション技術室

学会名／演題	氏名	日付／場所
第50回日本理学療法学術大会 人工膝関節置換術施行患者の身体活動量と生活空間の経時的変化	中崎 亨	2015年6月5日～7日 東京

●臨床工学技術室

学会名／演題	氏名	日付／場所
第60回日本透析医学会学術集会・総会 CKD患者への関わり ～腎臓病教室を通じて～	柴田永利子	2015年6月25日～27日 神奈川
第60回日本透析医学会学術集会・総会 CAP2000データを利用したPMX治療効果のモニタリング	中川 尚	2015年6月25日～27日 神奈川
第60回日本透析医学会学術集会・総会 透析センターにおける抗がん剤曝露対策の取り組み	毛利 真吾	2015年6月25日～27日 神奈川
第41回体外循環医学会大会 体外循環中に遠心ポンプが停止した1例	伊藤 秀明	2015年10月17日～18日 兵庫

●医療連携室

学会名／演題	氏名	日付／場所
第54回全国自治体病院学会 急性期病院における退院調整実績分析と病棟看護師の退院支援・退院調整	林 祐里子	2015年10月8日～9日 北海道

●栄養管理室

学会名／演題	氏名	日付／場所
第58回日本糖尿病学会年次学術集会 病院内食堂における「ヘルシー御膳」の取り組みについて	伊藤 若菜	2015年5月20日～23日 山口

●初期研修医

学会名／演題	氏名	日付／場所
第70回日本消化器外科学会総会 小開腹下に内視鏡的・外科的ポリープ切除を施行したPeutz-Jeghers症候群の1例	原 美里 (外科)	2015年7月15日～17日 静岡

●病院安全推進室

学会名／演題	氏名	日付／場所
第54回全国自治体病院学会 A病院のインフルエンザサーベイランスからみる2014/15シーズンの傾向	濱 ひろみ	2015年10月8日～9日 北海道
第31回日本環境感染学会総会・学術集会 血液培養検査実施状況の推移から見た推進活動の課題	濱 ひろみ	2016年2月19日～20日 京都

地方学会・研究会

●内科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第89回日本糖尿病学会中部地方会 SGLT2阻害薬投与中2型糖尿病患者の体重変化に関する生体電気インピーダンス分析法での検討	石川 貴大	2015年10月4日 静岡
第27回春日井糖尿病研究会 妊娠に関する糖尿病症例 ～当院における症例報告～	岡田由紀子	2015年10月31日 春日井市

●神経内科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第142回日本神経学会東海北陸地方会 Back restlessnessを呈した2例	安藤 孝志	2015年6月27日 名古屋市
第142回日本神経学会東海北陸地方会 脊髄硬膜動静脈瘻の診断に3D-CTAが有用であった66歳男性	鳥居 良太	2015年6月27日 名古屋市
第143回日本神経学会東海北陸地方会 立位で症状が改善した硬膜穿刺後頭痛の1例	安藤 孝志	2015年10月10日 富山
第143回日本神経学会東海北陸地方会 くも膜下出血と脳梗塞をほぼ同時に発症した左前大脳動脈解離性動脈瘤の1例	遠藤 利洋	2015年10月10日 富山

学会名／演題	氏名	日付／場所
第15回長久手神経疾患の病理検討会 発症3年後より人工呼吸器管理を継続した全経過11年の63歳男性	鳥居 良太	2015年10月31日 長久手市
第228回日本内科学会東海地方会 意識消失と痙攣で発症した進行性白質脳症の1例	遠藤 利洋	2016年2月21日 名古屋市
加齢医科学研究所セミナー 右下肢の筋力低下で発症し、早期から人工呼吸器管理を装着した69歳男性	鳥居 良太	2016年3月11日 長久手市
第144回日本神経学会東海北陸地方会 軽症の脳梗塞患者に対するt-PA静注療法	遠藤 利洋	2016年3月12日 名古屋市
第144回日本神経学会東海北陸地方会 浮動性めまいを主訴に神経内かを受診した遺伝性血管性浮腫の1例	安藤 孝志	2016年3月12日 名古屋市
第144回日本神経学会東海北陸地方会 抗GAD抗体陽性を呈し橋本病を伴う自己免疫性脳症の1例	數田 知之	2016年3月12日 名古屋市

●消化器科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第122回日本消化器病学会東海地方会 超音波内視鏡下針生検（EUS-FNA）にて術前診断し得た小児 Solidpseudopapillary neoplasm（SPN）の1例	小島 悠揮	2015年6月27日 三重
第11回愛知内視鏡医療連携勉強会 当院で経験したESD偶発症例	管野 琢也	2015年7月16日 名古屋市
第123回日本消化器病学会東海地方会 上部消化管ESDにおけるデクスメトミジンの有用性の検討	管野 琢也	2015年11月21日 名古屋市
第123回日本消化器病学会東海地方会 異なる経過をたどった急性壊死性食道炎の2例	小島 悠揮	2015年11月21日 名古屋市
第123回日本消化器病学会東海地方会 上部消化管内視鏡止血処置後に肝膿瘍を発症した1例	山本 友輝	2015年11月21日 名古屋市
第123回日本消化器病学会東海地方会 直腸静脈瘤に対してEIS・EVL同時併用療法（Endoscopic injection sclerotherapy wuth ligation）を施行した1例	奥田 悠介	2015年11月21日 名古屋市
第123回日本消化器病学会東海地方会 肝・骨転移を来たした胃GISTに対しイマチニブが奏功した1例	松本 朋子	2015年11月21日 名古屋市
第123回日本消化器病学会東海地方会 胆嚢癌との鑑別に苦慮したIgG4関連硬化性胆管炎の1例	岡山 幸平	2015年11月21日 名古屋市
第58回日本消化器内視鏡学会東海支部例会 EUSにて術前診断のついた異所性胃腺を伴った早期胃癌の2例	岡山 幸平	2015年12月5日 名古屋市

●循環器科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第34回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会 当院でのDCB（Drug Coated Balloon）使用成績	河村 吉宏	2015年10月9日～10日 名古屋市
第34回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会 当院における超高齢者ACS症例に関する検討	高原 邦彦	2015年10月9日～10日 名古屋市

●外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第289回東海外科学会 膵十二指腸動脈アーケードの動脈瘤を合併した腹腔動脈起始部圧迫症候群の1例	伊藤 哲	2015年4月29日 名古屋市
第289回東海外科学会 下肢浮腫、呼吸困難を呈した腫瘍性病変との鑑別に難渋した巨大肝嚢胞の1切除例	山中 美歩	2015年4月29日 名古屋市
第289回東海外科学会 膵・十二指腸・結腸切除、SMV広範切除再建を要したデスモイドの1例	三輪 知弘	2015年4月29日 名古屋市
第44回愛知臨床外科学会 経過観察中に胆嚢胆管瘻となった胆嚢結石症の1手術例	伊藤 哲	2015年7月20日 名古屋市
愛知北部がん研究会 がん地域連携パス	會津 恵司	2015年7月30日 小牧市
第51回肝胆膵治療研究会 外傷を契機に発見された膵solid-pseudopapillary neoplasmの一例	榊原 昌志	2015年8月22日 名古屋市
第290回東海外科学会 鼠径法で手術を施行した閉鎖孔ヘルニア嵌頓の4例	中橋 剛一	2015年10月11日 静岡
第290回東海外科学会 中心静脈ポート留置後、極めて早期に形成されたフィブリンシースによる薬剤漏出の1例	榊原 昌志	2015年10月11日 静岡
第45回愛知臨床外科学会 上腸間膜動脈由来の左肝動脈が膵頭部腹側を走行する破格を伴った十二指腸乳頭部癌の1例	三竹 泰弘	2016年2月11日 名古屋市
第45回愛知臨床外科学会 二回の腹腔内再発巣切除と化療により5年以上生存中の膵体部癌の1例	山本 泰資	2016年2月11日 名古屋市
第52回肝胆膵治療研究会 抗凝固薬導入を契機に出血をきたし診断された膵腺房細胞癌の1例	有元 淳記	2016年3月26日 名古屋市

●整形外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第58回東海外傷研究会 Twinsによる大腿骨頸部骨折治療の短期成績	鈴木 浩之	2015年4月4日 名古屋市
第124回中部日本整形外科災害外科学会 鎖骨骨幹部骨折に対しLCPでの骨接合術後再骨折を起こした2例	鈴木 浩之	2015年4月10日～11日 石川
第124回中部日本整形外科災害外科学会 Twinsによる大腿骨頸部骨折治療の短期成績	柴田 淳	2015年4月10日～11日 石川
第124回中部日本整形外科災害外科学会 下腿骨骨折に対するロッキング機構を有する髓内釘の使用経験	松澤 良	2015年4月10日～11日 石川
第124回中部日本整形外科災害外科学会 若年者に発生した大腿骨頸部疲労骨折の1例	山田 宏毅	2015年4月10日～11日 石川
第125回中部日本整形外科災害外科学会 自在金具とカラビナを使用した創外固定挙上法	鈴木 浩之	2015年10月2日～3日 名古屋市

●脳神経外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第89回日本脳神経外科学会中部地方会 Pleomorphic xanthoastrocytoma with anaplastic featuresの1例	真宮 崇	2015年9月12日 名古屋市
第79回東海総合画像医学研究会 VP Shunt後に第4脳室拡大から脊髄空洞症を呈した1例	大塚 崇史	2016年1月9日 名古屋市
第22回名古屋脳卒中外科研究会 当院における脳梗塞急性期治療の実際	内藤 丈裕	2016年2月6日 名古屋市

●歯科口腔外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第40回（公社）日本口腔外科学会中部地方会 頸部リンパ節転移を伴う顎骨中心性癌に対して血流改変術を併用した超選択的動注化学療法が奏功した1例	花井 寛之	2015年6月13日 岡崎市
第86回学術大会 愛知学院大学歯学会 認知症を有する口腔癌患者に対しての超選択的動注化学放射線療法を施行した2例	西出 和貴	2015年6月14日 名古屋市
第33回東海頭頸部腫瘍研究会 当科における口腔癌に対する超選択的動注化学放射線療法による頸部リンパ節制御に関する検討	丹下 和久	2016年2月27日 名古屋市

●血管内治療センター

学会名／演題	氏名	日付／場所
第15回血管外科アカデミー 左膝窩動脈限局性高度石灰化病変を伴った膝窩動脈捕捉症候群の1手術例	玉井 宏明	2015年9月6日 愛媛

●看護局

学会名／演題	氏名	日付／場所
第15回中部地方会 固定チームナーシング研究会 固定チームナーシングを活かすペア制とクリニカルリーダーナース	近藤 俊史	2015年11月23日 名古屋市

●臨床検査技術室

学会名／演題	氏名	日付／場所
第29回東海糖尿病治療研究会 糖尿病センターにおける臨床検査技師の診療支援について	佐藤 由佳	2015年9月26日 名古屋市

●放射線技術室

学会名／演題	氏名	日付／場所
第34回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会 Af ablation 術前のCT撮影法	高井 俊弥	2015年10月9日～10日 名古屋市
第34回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会 心臓カテーテル検査における手台の開発	馬場 勇人	2015年10月9日～10日 名古屋市

●リハビリテーション技術室

学会名／演題	氏名	日付／場所
第25回愛知県理学療法学会 縫合不全により状態が悪化した胃切除術後の1例 呼吸管理を中心に積極的に理学療法介入を進めた症例	山下 裕	2016年3月13日 刈谷市

●初期研修医

学会名／演題	氏名	日付／場所
第289回東海外科学会 消費性凝固障害を伴う腹部大動脈瘤に対しステントグラフト治療を行った1例	床本 光弘 (外科)	2015年4月29日 名古屋市
第264回日本小児科学会東海地方会 下腹部痛を繰り返し、尿閉を来した1例	新田ひとみ (小児科)	2015年5月10日 名古屋市
第44回愛知臨床外科学会 急速な経過をたどった胃原発絨毛癌の1例	大野 智也 (外科)	2015年7月20日 名古屋市
第51回中部日本小児科学会 反復する腹痛と嘔吐を契機に小腸内ヘルニアと診断された1例	清水 宏康 (小児科)	2015年8月23日 名古屋市
第290回東海外科学会 S状結腸瘻を伴った左内腸骨動脈瘤の1手術例	篠田 幸樹 (外科)	2015年10月11日 静岡
日本循環器学会第146回東海・第131回北陸合同地方会 Leriche 症候群を合併し多彩な症状を呈した心筋症の1例	床本 光弘 (循環器科)	2015年10月24日 名古屋市
第265回日本小児科学会東海地方会 Herlyn-Werner-Wunderlich Syndromeの1例	宇塚 千紗 (小児科)	2015年11月8日 名古屋市
第45回愛知臨床外科学会 十二指腸第4部憩室出血に対し憩室切除を施行した1例	田中 伸和 (外科)	2016年2月11日 名古屋市
第45回愛知臨床外科学会 術前に悪性が疑われた胃神経鞘腫の1例	原田 貴仁 (外科)	2016年2月11日 名古屋市
第136回東海産科婦人科学会 再発上皮性悪性卵巣腫瘍の化学療法中に発症した治療関連白血球病および骨髄異形成症候群を発症した3症例	山田 惇之 (産婦人科)	2016年2月13日～14日 岐阜
第228回日本内科学会 東海地方会 高齢女性のステロイドが奏功した溶連菌感染後急性糸球体腎炎の1例	原田 貴仁 (内科)	2016年2月21日 名古屋市
第228回日本内科学会 東海地方会 妊娠合併急性膵炎の1例	宇塚 千紗 (消化器科)	2016年2月21日 名古屋市
第228回日本内科学会 東海地方会 Lambert-Eaton筋無力症候群を合併した小細胞肺癌の1例	野田 悠平 (呼吸器科)	2016年2月21日 名古屋市
第228回日本内科学会 東海地方会 搬入時にST上昇を認めた急性胆管炎の1例	山際 暁子 (消化器科)	2016年2月21日 名古屋市

講演等

●院長

学会名／演題	氏名	日付／場所
ESA25周年記念講演会 ESA発売後四半世紀を振り返って ―その光と影―	渡邊 有三	2015年6月18日 名古屋市

学会名／演題	氏名	日付／場所
瀬戸旭透析医会 高齢者が増加する中での透析医療	渡邊 有三	2015年7月9日 名古屋市
CRA-CKD-MBD講演会 CKD-MBD講演会クロージング・リマーク	渡邊 有三	2015年9月4日 名古屋市
日本透析医会研修セミナー 透析患者の血圧管理	渡邊 有三	2015年9月19日 新潟
第4回高知透析医療研究会 高齢者が増加する中での透析医療	渡邊 有三	2015年10月22日 高知
沖縄第9回臨床研修医の腎セミナー 高齢者が増加する中での透析医療	渡邊 有三	2015年10月31日 沖縄
兵庫医科大学腎臓内科講座同門会 高齢者が増加する中での透析医療	渡邊 有三	2015年11月15日 兵庫
三重県透析医学会一特別講演 高齢化社会を迎える中での透析医療	渡邊 有三	2016年2月14日 三重
第42回明石西神戸透析懇話会 透析患者の終末期医療 ―高齢化時代を迎えての対処―	渡邊 有三	2016年2月27日 兵庫

●内科

学会名／演題	氏名	日付／場所
春日井市医師会学術講演会 新・糖尿病センター開設1年を振り返って	佐々木洋光	2015年4月4日 春日井市
腎性貧血フォローアップセミナー 実践的な保存期貧血治療を考える	成瀬 友彦	2015年5月9日 岐阜
愛腎協・東尾張医療講演会 透析に使用される薬の話	成瀬 友彦	2015年7月5日 春日井市
東名古屋医師会日進支部診療懇話会 SGLT2阻害薬の適正使用！ この様な症例にいかがでしょうか	佐々木洋光	2015年7月25日 名古屋市
岡崎・豊田Diabetes Seminar SGLT2阻害薬の有効活用と注意点	佐々木洋光	2015年8月5日 豊田市
春日井地域医療の会 SGLT2阻害薬の有効活用と注意点	佐々木洋光	2015年8月22日 春日井市
宮崎バクスター講演会 当院のPD治療の現状	成瀬 友彦	2015年8月29日 宮崎
第26回岡山PIT研究会 CKD-MBD up-to-date	成瀬 友彦	2015年9月8日 岡山
糖尿病チームで支える透析予防指導 透析予防指導、主治医の役割	岡田由紀子	2015年9月11日 名古屋市
愛知県病院薬剤師会 学術講演会 インスリン治療 過去・現在（・未来） ―さらに進む治療の多様性とその選択―	佐々木洋光	2015年9月17日 名古屋市
地域住民の健康維持・増進のための医療連携モデル研修会 糖尿病の診断基準とHbA1c	佐々木洋光	2015年9月27日 名古屋市
2015 Diabetes Clinical Seminar in 東海 当院におけるDPP4阻害薬・インスリン併用療法の実際	佐々木洋光	2015年10月3日 名古屋市

学会名／演題	氏名	日付／場所
生活習慣病in春日井 CKD診療のコツと落とし穴	成瀬 友彦	2015年10月11日 春日井市
第92回中濃医学セミナー CKDにおける腎性貧血治療	坂 洋祐	2015年10月17日 岐阜
第432回新城市医師会学術講演会 CKD診療のコツと落とし穴	成瀬 友彦	2015年10月21日 新城市
平成27年度かすがい熟年大学 腎臓の病気について	坂 洋祐	2015年10月22日 春日井市
第6回尾張一宮糖尿病ケア研究会 患者中心志向に基づいた糖尿病チーム医療の工夫と実践 春日井市民病院糖尿病センターの取り組み	佐々木洋光	2015年11月7日 一宮市
第2回春日井透析セミナー ここまで進歩した透析・移植・再生医療	成瀬 友彦	2015年11月14日 春日井市
平成27年度かすがい熟年大学 糖尿病について	松田 淳一	2015年12月3日 春日井市
“水曜会”講演会 グルカゴンを軸に考えるこれからの糖尿病診療	佐々木洋光	2016年1月27日 春日井市
糖尿病フォーラムin長久手 当院における地域連携診療の現状	岡田由紀子	2016年1月30日 名古屋市
テルモPD学術講演会 PD療法の現在・過去・未来	成瀬 友彦	2016年2月6日 岩手
西濃透析スモールミーティング CKD-MBD最新治療～多様化するリン管理～	成瀬 友彦	2016年2月13日 春日井市
東区医師会学術講演会 尿酸、その不思議な二面性～腎疾患との深い関わり～	成瀬 友彦	2016年2月26日 名古屋市
東尾張地区学術講演会 ワクワクSkill Up Seminar 経口血糖降下薬の適正使用について	佐々木洋光	2016年2月26日 名古屋市
姫路CKD講演会 CKDでのミネラル管理のコツと超高齢者腎不全治療としての腹膜透析	成瀬 友彦	2016年3月2日 兵庫
The 3rd Pharmacist Seminar in AICHI 糖尿病チーム医療における薬剤師への期待	佐々木洋光	2016年3月3日 名古屋市
Diabetes Nursing info Seminar もう「指導」はやめませんか？ ～当院での取り組みについて～	岡田由紀子	2016年3月5日 名古屋市

●神経内科

学会名／演題	氏名	日付／場所
春日井内科医会学術講演会、第26回春日井糖尿病研究会 脳梗塞急性期のt-PA治療：当院での取り組みについて	寺尾 心一	2015年6月13日 春日井市
尾張北部脳卒中地域連携パス会議 脳梗塞t-PA治療：当院での取り組みと現状について	寺尾 心一	2015年10月20日 春日井市

●消化器科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第4回平子学術講演会 大腸憩室出血の治療戦略	平田 慶和	2015年10月1日 名古屋市

●小児科

講演会名／演題	氏名	日付／場所
春日井市健康救急フェスティバル 子どもの感染性胃腸炎	河邊太加志	2015年9月6日 春日井市

●外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
第61回東海肝臓外科懇談会 肝硬変症例に対する腹腔鏡下肝切除の工夫 —腹腔鏡下にタコシールを貼付する方法を含めて—	山口 竜三	2016年2月6日 名古屋市

●歯科口腔外科

学会名／演題	氏名	日付／場所
平成27年かすがい熟年大学、健康科学コース 歯と全身の健康	脇田 壮	2015年6月25日 春日井市

●血管内治療センター

学会名／演題	氏名	日付／場所
春日井医師会学術講習会 血管内治療センターでの治療経験について	井原 努	2015年9月19日 春日井市

●薬剤部

学会名／演題	氏名	日付／場所
平成27年度保育連盟ブロック研修 アナフィラキシーとエピペン使用について	服部 芳明	2015年5月30日 春日井市
第54回愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会 糖尿病治療薬 SGLT-2阻害薬の特徴と療養指導上の注意点	服部 芳明	2015年7月26日 名古屋市
糖尿病療養公開勉強会in岐阜 薬剤師がおこなう服薬指導 —内服薬の特性と療養指導上の注意点—	服部 芳明	2015年10月18日 岐阜
第19回東海外来化療フォーラム 薬薬連携コンソーシアムによる大腸がん患者のリスクマネジメント	鈴木 大吾	2015年11月13日 名古屋市

その他

●院長

演題等	氏名	日付／場所
CBCラジオ 多田しげおの気分爽快!! ~朝からP・O・N 脂肪肝について	渡邊 有三	2015年10月5日

演題等	氏名	日付/場所
CBCラジオ 多田しげおの気分爽快!! ~朝からP・O・N ウイルス性肝炎について	渡邊 有三	2015年11月27日

●がん相談支援センター・エンドオブライフケアチーム

演題等	氏名	日付/場所
人生の最終段階における医療体制整備事業 中間報告会	會津 恵司	2015年11月4日 厚生労働省
人生の最終段階における医療体制整備事業 成果報告会	會津 恵司	2016年2月3日 厚生労働省
医療・介護CBニュース 人生の最終段階における医療体制整備事業		2016年2月3日
NHK クローズアップ現代 がんを生きる		2016年2月9日
朝日新聞 最後の選択 分かち合う 患者の医療相談 試み広がる		2016年3月8日
共同通信 多死社会 悔いなき最後に 患者と相談、希望くみ取る		2016年3月8日

地域研修会・交流会

〈地域研修会・交流会〉

研修会名/演題	所属/氏名	日付/場所
平成27年度第1回地域内医療機関感染予防協議会		2015年6月11日 春日井市総合保健 医療センター
Clostridium difficile infectionについて	臨床検査技術室 堀尾 浩巳 薬剤部 中崎みづき	
MERSの現状について	病院安全推進室 伴 信義	
救急救命士勉強会 救急医療現場における低血糖の基礎知識	副院長 内科 佐々木洋光	2015年6月14日 市民病院
春日井市民病院救急救命士就業前研修 意識障害患者の診かた	神経内科 寺尾 心一	2015年6月16日 市民病院
第10回春日井市地域連携糖尿病研修会 実際に味わってみよう!一番おいしい塩分量はどれ?	栄養管理室 大門 有紀	2015年7月11日 市民病院
ALSO プロバイダーコース in 春日井市民病院	主催 春日井市民病院 共催 NPO法人 周生期医療支援機構	2015年7月25日~ 7月26日 市民病院
春日井市地域連携講演会 がん診療拠点病院に求められる地域連携	がん相談支援センター 會津 恵司	2015年9月8日 春日井市
平成27年度第2回地域内医療機関感染予防協議会 MRSAについて	呼吸器科 林 嘉光 看護局 三輪 幸	2015年9月10日 春日井市総合保健 医療センター

研修会名／演題	所属／氏名	日付／場所
第11回春日井市地域連携糖尿病研修会 実際の症例を使って血糖パターンマネージメントを学ぶ	看護局 鈴木 香里	2015年10月10日 市民病院
プレ世界糖尿病デー2015 in 春日井 糖尿病にならないために	副院長 内科 佐々木洋光	2015年11月8日 春日井市総合保健 医療センター
平成27年度第3回地域内医療機関感染予防協議会 疥癬をうたがったら	薬剤部 中崎みづき	2015年12月10日 春日井市総合保健 医療センター
平成27年度 薬薬連携コンソシアム研修会 新しいリスク管理の形 ―RMPとは―	薬剤部 福井 悠美	2015年12月18日 春日井市総合保健 医療センター
平成27年度 薬薬連携コンソシアム研修会 RMPから薬を見る ―メトホルミン編―	薬剤部 浅川 唯	2016年1月15日 春日井市総合保健 医療センター
春日井市薬剤師会 生涯教育研修会 医療安全について	薬剤部 田中 伸明	2016年1月23日 春日井市総合保健 医療センター
第12回春日井市地域連携糖尿病研修会 泡で足浴！シャボンラッピング法	看護局 谷口美和子	2016年2月6日 市民病院
平成27年度 薬薬連携コンソシアム研修会 RMPから薬を見る ―シユアポスト編―	薬剤部 牧 なつみ	2016年2月19日 春日井市総合保健 医療センター
平成27年度第4回地域内医療機関感染予防協議会 名古屋徳洲会総合病院の活動報告	名古屋徳洲会総合病院 看護師 足立 峰	2016年3月10日 春日井市総合保健 医療センター
平成27年度 薬薬連携コンソシアム研修会 RMPから薬を見る ―カナグル編―	薬剤部 稲垣 志郎	2016年3月18日 春日井市総合保健 医療センター

▼がんオープンカンファレンス

テーマ	所属／氏名	日付／場所
膀胱がんと排泄ケア	泌尿器科 春日井 震 看護局 横井さつき	2015年4月2日 市民病院
がんと口腔ケア ―院内の取り組み―	歯科口腔外科 脇田 壮 看護局 松永 美保 歯科衛生士 近藤 未来	2015年5月7日 市民病院
安心できる外来がん化学療法（多職種による共同支援）	看護局 中釜 浩美 薬剤部 鈴木 敦詞 医事課 黒川 陽平	2015年6月4日 市民病院

テーマ	所属／氏名	日付／場所
膵臓がんと糖尿病	消化器科 高田 博樹 内科 岡田由紀子	2015年7月2日 市民病院
トモセラピー	放射線技術室 渡邊 健二 放射線科 小崎 桂	2015年8月6日 市民病院
学術集会	薬剤部 前田 剛司 リハビリテーション技術室 山下 裕 臨床検査技術室 伊藤 修 看護局 長谷川弘子	2015年9月3日 市民病院
がん治療と臨床心理	リハビリテーション技術室 大脇 真奈 渡邊 啓介	2015年10月1日 市民病院
薬剤部の取り組み ―薬剤師外来と医薬連携について―	薬剤部 鈴木 大吾 鈴木 敦詞	2015年11月5日 市民病院
人生の最終段階における 医療体制整備事業について ～患者が望む最善の医療を目指して～	看護局 森本 優子 山田 洋子 柴田 美香	2015年12月3日 市民病院
婦人科がん多職種支援	産婦人科 佐々木裕子 看護局 西澤 雪江 柚之原さおり	2016年1月7日 市民病院
耳鼻科領域のがん治療	耳鼻咽喉科 篠塚 憲一 リハビリテーション技術室 山田 康子	2016年2月4日 市民病院
抗がん剤の曝露対策	薬剤部 松原 怜 看護局 中釜 浩美	2016年3月3日 市民病院

〈院内研修会〉

研修会名／演題	所属／氏名	日付／場所
安全管理のための職員研修 「医療事故調査制度」について	院長 渡邊 有三	2015年7月15日 春日井市総合保健 医療センター

研修会名／演題	所属／氏名	日付／場所
脳死下臓器移植勉強会 臓器提供の現状と流れ	藤田保健衛生大学 西山 幸枝	2015年7月23日 春日井市総合保健 医療センター
脛島移植術の現状と今後の課題	京都大学病院 穴澤 貴行	
脛島移植の施設利用について	福島医科大学・京都大学病院 井山なおみ	
院内倫理講演会 QIP (Quality Indicator Project) から考える病院の在り方	院長 渡邊 有三	2015年9月2日 春日井市総合保健 医療センター
平成27年度 第1回 新生児蘇生法「Bコース」講習会		2015年9月11日 市民病院
医療関連感染に関わる職員研修 MRSA肺炎の診断と治療	呼吸器科 岩田 晋	2015年9月17日 春日井市総合保健 医療センター
アドバンス・ケア・プランニング講演会 アドバンス・ケア・プランニング	国立長寿医療研究センター 西川 満則	2015年10月8日 春日井市総合保健 医療センター
「医療事故調査制度」について ～死亡診断をする医師が認識しておくべき点～	弁護士 中村 勝己	2015年10月14日 市民病院
苦痛緩和のための鎮静に関する運用マニュアル説明会	メンタルヘルス科 長島 渉	2015年10月20日 市民病院
人生の最終段階における医療体制整備事業 伝達講習会	がん相談支援センター 會津 恵司 鈴木 利恵	2015年10月28日 春日井市総合保健 医療センター
院内NST研修会 経管栄養剤のはなし	栄養管理室 大門 有紀	①2015年11月24日 市民病院 ②2015年12月1日 市民病院
保険診療にかかる研修会 診療報酬改定について	ソラスト東海ブロック 坂井田 晃	2015年11月27日 市民病院
自分らしく生き、自分らしい最期を迎えるために 患者・家族と考える 人生の最終段階における医療	がん相談支援センター 森本 優子 看護局 柴田 美香 山田 洋子	2015年12月1日 市民病院
周産期災害医療研修会 東日本大震災とわれわれ ～3.11を心に刻んで～	宮城県立こども病院 東北大学大学院医学系研究科 先進発達医学講座胎児医学分野 室月 淳	2015年12月4日 市民病院
人生の最終段階における医療体制整備事業 当院の取り組みについて	がん相談支援センター 森本 優子	2015年12月13日 市民病院

研修会名／演題	所属／氏名	日付／場所
第17回クリニカルパス大会		2016年1月26日 市民病院
クリニカルパスの基礎	医療情報センター 後藤 慎一	
産婦人科版術前オリオリ	東2階病棟 鈴木 雅美	
いまなぜ外来パスなのか？	外科 會津 恵司	
医療関連感染に関わる職員研修 入院中の患者さんがHIVに感染していると分かったら	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター エイズ治療開発センター 横幕 能行 羽柴知恵子	2016年2月18日 春日井市総合保健 医療センター
平成27年度 第2回 新生児蘇生法「Bコース」講習会		2016年2月26日 市民病院
安全管理のための職員研修 ヒヤリ・ハット劇場	病院安全推進室	2016年3月7日 市民病院
保険診療にかかる研修会 診療報酬改定について	ソラスト東海ブロック 坂井田 晃	2016年3月22日 市民病院
人生の最終段階における医療体制整備事業 成果報告会	臨床心理士 渡邊 啓介	2016年3月24日 市民病院

▼がんサーボード

テーマ	所属／氏名	日付／場所
胆嚢転移、癌性腹膜炎の診断から長期生存・進行乳癌（浸潤性小葉癌）の1例 —腹水濾過濃縮再静注（CART）反復症例—	外科 古田 美保	2015年4月9日 市民病院
手術所見で腹膜播種がみられ非切除となったが化療にてSDの進行胆のう癌の症例	消化器科 管野 琢也	2015年5月14日 市民病院
化学放射線治療を行った声門がんの症例	耳鼻いんこう科 佐藤 雄二	2015年6月11日 市民病院
化療後腹膜リンパ節郭清を施行した左精巣腫瘍の症例	泌尿器科 福原 信之	2015年7月9日 市民病院
希で急速な転帰をたどった胃絨毛がんの症例	外科 中橋 剛一	2015年8月13日 市民病院
卵巣癌 癌性腹膜炎により経口摂取困難となった1例	産婦人科 下村 裕司	2015年9月10日 市民病院
皮膚転移にて診断された肺小細胞癌の1例	呼吸器科 岩田 晋	2015年11月12日 市民病院
多発骨転移と伴った原発不明癌の1例	整形外科 久保田 雅	
胃癌に対し新規分子標的薬:サイラムザを使用した1例	消化器科 森川 友裕	2015年12月10日 市民病院
透析患者の大腸癌化学療法の治療効果とレジメン選択	外科 三輪 知弘	

テーマ	所属/氏名	日付/場所
子宮頸部原発小細胞癌の1例	産婦人科 石原 美紀	2016年1月14日 市民病院
十二指腸狭窄症状を主訴に診断した右乳癌、十二指腸転移の1例	外科 山中 美歩 消化器科 松本 朋子	2016年3月10日 市民病院

▼看護実践報告会プログラム

演題	所属/氏名	日付/場所
平成27年度 第1回看護実践報告会テーマ：看護を実感しよう ～成功をまねよう、失敗から学ぼう～		
共同勉強会を開催して	救急外来 松波 稚恵	2015年7月11日 春日井市総合保健 医療センター
転倒・転落防止カンファレンス実践からの気づき	病院安全推進室 金原 敦子	
周術期看護の向上を目指して	手術室 小瀬木彩香	
医療連携看護師が関わる退院調整実績と、病棟での退院支援・退院調整の実際	医療連携室 林 祐里子 東6階病棟 柴田 美香	
高齢者の腹膜透析導入における地域へ繋げるための取り組み	東6階病棟 山本 幸子	
認知症高齢患者のQOL向上を目指した取り組み	西5階病棟 伊藤 松恵	
Person-centered careの視点から「ひもときシート」を活用しケアを振り返る	西5階病棟 上岡 道子 生駒 弥沙	
小児の権利擁護のために	西2階病棟 米澤 景子	
遺族支援を通して	東7階病棟 西村 尚美	
平成27年度 第2回看護実践報告会テーマ：看護を実感しよう ～成功をまねよう、失敗から学ぼう～		
院内助産開設から2年 現状と課題	東2階病棟 柚之原さおり	2016年1月30日 春日井市総合保健 医療センター
転倒・転落の対策について	西5階病棟 後藤 晴美	
変えよう、変わろう東7階 ～業務改善と必要性の取り組み～	東7階病棟 中村理恵子	
胃切術後患者の摂食嚥下困難からの傾向摂取へのアプローチ	東4階病棟 穂苺 博美	
手術終了を待つ患者・家族への関わり	手術室 荒金 英治	
外来・病棟一元化に伴う看護の取り組みと課題	東3階病棟 長谷川幸代	

演 題	所属／氏名	日付／場所
病棟・外来の一元化による継続看護 ～術前患者の電話連絡～	西 6 階病棟 小木曾やよい	2016年 1 月30日 春日井市総合保健 医療センター
病棟と外来の一元化による糖尿病患者への療養指導の現状	西 7 階病棟 野中ひろみ	

研修医CPC

剖検 番号	テーマ	主治医	研修医(臨床)	研修医(病理)	指導病理医	日 付
594	入院5日目に突然心肺停止になった1例	山下 良子 (内科)	西尾 太郎	原 美里	吉田めぐみ	5月19日
598	アルコール依存症の61歳男性、入院4日目で心肺停止した1例	成瀬 友彦 (内科)	山際 暁子	新田ひとみ	立山 尚	7月14日
601	肺癌加療中77歳男性、突然意識レベルが低下し心肺停止した1例	岩木 舞 (呼吸器内科)	清水 宏康	山田惇之助	立山 尚	9月15日
599	AMI後に腸管壊死を起こし死亡した1例	寺澤 彰浩 (循環器科)	服部 礼佳	梅村彦太郎	吉田めぐみ	11月10日
600	CABG術前に急変した1例	墨 卓哉 (循環器科)	原田 貴仁	田中 伸和	立山 尚	1月19日
607	CPAで来院し、短時間で死亡した1例	木村 幹俊 (消化器科)	伊東 友憲	大野 智也	立山 尚	3月15日

剖検報告

平成27年度病理解剖報告

剖検番号	年齢	性別	科	臨床診断	病理解剖学的診断
600	69	男	神経内科	筋萎縮性側索硬化症、敗血症	1. 筋萎縮性側索硬化症広範型 2. 大葉性肺炎、間質性肺炎、右下葉肺梗塞 3. 気管切開、人工呼吸器管理状態 4. 感染性心内膜炎、虚血性小線維化巣、心肥大 5. 大動脈、冠動脈粥状硬化症 6. 腹部大動脈瘤 7. 急性腎盂腎炎 8. 敗血症 9. 出血性膀胱炎 10. 脾腫大(235g) 11. 胃潰瘍瘢痕 12. 虚血性腸炎 13. 胆石症 14. 胃瘻造設状態 15. 心臓ペースメーカー留置状態
601	77	男	呼吸器科	肺腺癌、薬剤性肺障害	1. 肺腺癌(腺房型>乳頭型)および癌性リンパ管症. 転移:両肺多発性、気管支周囲リンパ節、縦隔リンパ節、臨床的頸椎 2. 肺腺癌化学療法後状態 3. びまん性肺胞傷害、局所的気管支肺炎、器質化肺炎、線維素性胸膜炎 4. 肺動脈多発性血栓塞栓症 5. 右心室多発性血栓症、心筋虚血性小線維化症 6. 肝うっ血、軽度の脂肪変性 7. 敗血症 8. 局所的急性睪炎 9. 虚血性直腸炎 10. 大脳レンズ核微小梗塞巣 11. 良性前立腺肥大症 12. 慢性膀胱炎 13. 慢性リンパ球性甲状腺炎 14. 骨髄過形成
602	67	男	眼科	青色一色型色盲、糖尿病性網膜症、緑内障、慢性腎不全	1. 青色一色型色盲(眼球だけの局所解剖)
603	64	女	神経内科	筋萎縮性側索硬化症、肺炎	1. 筋萎縮性側索硬化症 2. 気管支肺炎 3. 両側腎嚢胞 4. 小腸炎(空腸出血) 5. 諸臓器うっ血(肝、腎、消化管) 6. 甲状腺硝子化索状腫瘍 7. 脂漏性角化症
604	44	男	神経内科	筋萎縮性側索硬化症、肺炎	1. 筋萎縮性側索硬化症 2. 気管支肺炎 3. 大腸腺腫 4. 肝萎縮 5. 骨髄膠様変性 6. 動脈粥状硬化症 7. 高度るい瘦
605	77	女	循環器科	狭心性、慢性腎不全、糖尿病、腹部大動脈瘤	1. 陳旧性心筋梗塞、心肥大(620g) 2. 動脈粥状硬化症 3. 腹部大動脈瘤 4. 虚血性腸炎(小腸・大腸・直腸) 5. 後腹膜出血、血性腹水(250ml) 6. 肝細胞壊死を伴う肝うっ血 7. 左中脳梗塞および多発性微小梗塞巣 8. 細気管支炎、軽度気管支肺炎、肺うっ血および出血 9. 腎硬化症、左弓状動脈コレステロール塞栓症 10. 胃びらん、胃潰瘍瘢痕 11. 慢性睪炎 12. 子宮腺筋症
606	82	男	消化器科	汎血球減少症、肺炎、胸水、腹部リンパ節腫大、脾腫	1. 侵襲性アスペルギルス症(肺、大脳) 2. 骨髄低形成、血球貪食症 3. EBウイルス性リンパ節炎 4. 諸臓器出血:皮下、心外膜、肺、消化管、肝門部、脾、腎盂、膀胱、腸腰筋 5. 脾出血性梗塞 6. 腔水症(胸水左1100ml、右1500ml、腹水400ml) 7. 胃潰瘍 8. 回盲部潰瘍 9. 消化管カンジダ症 10. 大腸腺腫 11. 前立腺肥大症 12. 右腎嚢胞 13. 腺腫様甲状腺腫
607	61	女	消化器科	蘇生に成功した心停止、統合失調症	1. 両側大葉性肺炎、肺胞内出血、器質化肺炎、うっ血水腫 2. 心肥大(435g)、局所的間質性線維化 3. 食道内大量食物残渣 4. 大動脈粥状硬化症 5. 大脳および小脳神経細胞のびまん性虚血性変化 6. 脂肪肝 7. 慢性甲状腺炎 8. 骨髄過形成 9. 腎硬化症 10. 慢性胆嚢炎 11. 慢性膀胱炎 12. 胃びらん 13. 心嚢水(50ml) 14. 子宮頸癌手術後状態、再発なし 15. 腔部断端線維上皮性ポリープ 16. 左卵巣漿液性嚢胞腺腫
608	53	男	神経内科	筋萎縮性側索硬化症、誤嚥性肺炎、高血圧、高脂血症	1. 筋萎縮性側索硬化症 2. 気管支肺炎、誤嚥性肺炎、うっ血水腫 3. 陳旧性心筋梗塞 4. 大動脈粥状硬化症 5. 脂肪肝 6. 諸臓器うっ血(肝、脾、消化管、腎) 7. 腎硬化症 8. 良性前立腺肥大症 9. 甲状腺嚢胞 10. 左副腎皮質結節 11. 骨髄過形成
609	83	男	呼吸器科	肺結核	1. 粟粒結核症(肺、肝、脾、腎、骨髄) 2. 器質化肺炎 3. 局所的心筋炎、心外膜炎心肥大(390g) 4. 高度動脈粥状硬化症 5. 慢性睪炎、コレステロール塞栓症 6. リンパ球性甲状腺炎(橋本病線維型型疑い) 7. 透析腎、多発性腎嚢胞、乳頭状腺腫 8. 骨髄低形成 9. 肝うっ血 10. 腔水症(胸水左200ml、右150ml、心嚢水35ml) 11. 逆流性食道炎 12. 良性前立腺肥大症 13. 慢性膀胱炎
610	77	男	外科	胃GIST、敗血症、腹膜炎	1. 睪退形成癌術後状態(3日目)(pT4, pN3, pStage Ivb) 2. 播種巣遺残 3. 横行結腸縫合不全による汎発性腹膜炎 4. 虚血性腸炎 5. 高度動脈粥状硬化症 6. 急性心筋梗塞 7. 気管支肺炎、間質性肺炎、多発性血栓症 8. 胃潰瘍 9. 肝うっ血 10. 慢性睪炎 11. 腔水症(腹水500ml、左胸水500ml) 12. 腎萎縮、透析腎 13. 骨髄過形成 14. 副腎皮質結節 15. 良性前立腺肥大症

病 院 概 要

I 施設概要

1 沿革

昭和21年	6月	鷹来診療所開設
	7月	篠木診療所開設
23年	3月	鳥居松診療所開設 味美診療所開設
	10月	国民健康保険法の改正により春日井市国民健康保険公営となる
25年	9月	春日井市立市民病院設置条例制定、10月1日施行
26年	4月	第1病棟（42床）完成
	6月	本館完成
	8月18日	春日井市民病院として開院 診療科：内科、外科 病床数：一般病床 42床
	12月	産婦人科新設
27年	3月	医師住宅（2戸）完成
	10月	第2病棟（55床）完成 病床数：一般病床 97床となる
	11月	篠木、鳥居松診療所廃止
30年	3月	春日井市立春日井病院条例制定 春日井病院（伝染病棟）完成
	5月	春日井市立春日井病院（伝染病棟）開院（市民病院に併設） 病床数：一般病床 97床、伝染病床 30床 計 127床となる
32年	9月	桃山診療所開設
33年	1月	高蔵寺、坂下診療所開設
	3月	耳鼻いんこう科新設
	4月	病棟（50床）増築完成 病床数：一般病床 147床、伝染病床 30床 計 177床となる
34年	7月	国民健康保険診療施設春日井市民病院に改める
	8月	看護婦宿舎完成（木造2階建）
	9月	伊勢湾台風来襲
35年	1月	国民健康保険診療施設春日井市民病院設置条例制定
36年	3月	病院改築第1期工事（第1病棟）着工
37年	3月	病院改築第1期工事（第1病棟 116床）完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上3階、延床3,968.66㎡） 病床数：一般病床217床、伝染病床 30床 計 247床となる
	10月	病院改築第2期工事（診療管理棟）着工
38年	1月	医師住宅（2戸）完成
	4月	病院改築第2期工事（診療管理棟）完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上2階、延床2,030㎡）
	8月	小児科、眼科、整形外科新設
39年	4月	地方公営企業法の財務規定一部適用
	5月	看護婦宿舎完成（鉄筋コンクリート造4階建 50人収容）
	7月	上八田医師住宅完成（鉄筋コンクリート造2階建 4戸）
	8月	救急病院指定

昭和39年	9月	旧看護婦宿舎を病床（43床）に改造 病院事業再建整備計画を議決
	12月	病床数変更 病床数：一般病床 159床、結核病床 58床、伝染病床 30床 計 247床となる
40年	11月	鷹来診療所改築完成（木造平屋建）
41年	4月	整形外科休診
	8月	病院機構改革 医務局、事務局の2局制となる
	12月	病院事業財政再建計画議決
42年	1月	総合病院の名称使用承認
	3月	国保診療施設から独立、春日井市立春日井市民病院として発足
44年	8月	六軒屋医師住宅完成（4戸）
	10月	X線断層撮影装置整備
45年	1月	脳神経外科新設
	10月	第2病棟増築第1期工事着工
46年	3月	第2病棟増築第1期工事完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上2階、延床1,763.10㎡） 病床数：一般病床 284床、結核病床 44床、伝染病床 30床 計 358床となる
	8月	第2病棟増築第2期工事着工
47年	2月	第2病棟増築第2期工事完成 （鉄筋コンクリート造3～5階建、延床2,624.85㎡） 六軒屋医師住宅完成（2戸） 託児所開設
	7月	整形外科再開
48年	1月	鷹来診療所廃止 耳鼻いんこう科休診
50年	6月	耳鼻いんこう科再開
51年	6月	伝染病棟取り壊し工事着手
	8月	伝染病棟敷地整地後、看護婦宿舎建設工事着工
	12月	中央診療管理棟建設工事着工
52年	3月	看護婦宿舎建設工事完成 （鉄筋コンクリート造5階建 100人収容）
	9月	39393リハビリ棟（水治療室）完成
	12月	旧看護婦宿舎取り壊し工事着工
53年	1月	中央診療管理棟建設工事完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上3階、延床3,928.83㎡）
	3月	伝染病棟（10床）改築工事完成
	4月	市健康管理センター、休日急病診療所開設
	9月	診療棟及び第1病棟改造工事完成 病床数：一般病床 288床、結核病床 44床、伝染病床 10床 計 342床となる
54年	4月	消化器科新設

昭和54年 12月	結核病床を一般病床に変更 病床数：一般病床 332床、伝染病床 10床 計 342床となる
55年 12月	病院第2次整備事業着工
56年 9月	A病棟（第1病棟）4、5階増築工事完成 （鉄筋コンクリート造 延床1,766.59㎡） リハビリ棟（機能回復訓練室）完成（延床397.55㎡）
57年 3月	A病棟地階～3階改造工事完成
5月	病床数：一般病床 449床、伝染病床 10床 計 459床となる
8月	新中央診療管理棟増築工事完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上5階、延床1,741.10㎡） 中央診療管理棟4階増築工事完成（延床191.91㎡） 厨房増築工事完成（延床226.81㎡） 全身用X線コンピュータ断層診断装置（CT）整備
9月	人工透析部門開設
59年 3月	カルテ倉庫兼小動物実験棟完成（延床170.42㎡）
62年 8月	病院第3次整備事業完成 外来部門改造 最新医療機器の導入（ライナック、血管連続撮影装置、CT）
10月	循環器科、神経内科、泌尿器科、皮膚科、放射線科新設
63年 4月	病院機構改革 医務局、看護局、事務局の3局制となる
11月	病床数：一般病床 484床、伝染病床 10床 計 494床となる
平成元年 3月	病床数：一般病床 500床、伝染病床 10床 計 510床となる
3年 4月	呼吸器科、理学診療科新設 磁気共鳴断層撮影装置（MRI）整備
4年 1月	病診連携室を院内に開設
4月	病診連携事業開始
5月	事務局に病院建設準備室を新設
6月	新市民病院建設基本構想策定
5年 2月	予約診療開始
4月	病院建設準備室を病院建設室に改称 伝染病棟を8床に変更 病床数：一般病床 500床、伝染病床 8床 計 508床となる
8月	外来診療土曜日休診
6年 2月	新市民病院基本設計委託
7年 5月	新市民病院実施設計委託
7月	新市民病院看護職員宿舎工事着手
8年 2月	新市民病院調整池第1期工事着手
6月	形成外科新設 新市民病院本館建設工事着手
10月	新市民病院看護職員宿舎入居開始
9年 1月	理学診療科をリハビリテーション科、泌尿器科を泌尿器科に科名変更
8月	新春日井市民病院外構工事着手
10月	麻酔科新設
4月	新市民病院研修医宿舎完成

平成10年 11月	新市民病院開院 診療科：22科（精神科、呼吸器外科、心臓血管外科、歯科口腔外科新設） 病床数：一般病床 550床（開放型病床50床含む）
11年 4月	感染症病床指定 病床数：一般病床 550床、感染症病床 6床 計 556床となる
13年 3月	臨床研修病院指定
12月	日本病院機能評価認定
15年 4月	女性専用外来開設
7月	日帰り手術センター開設 医療安全管理室開設 医療相談開始
16年 7月	動脈硬化外来開設
17年 4月	新生児聴覚検査開始 医療連携室開設
18年 4月	セカンドオピニオン外来開設
19年 3月	化学療法センター開設
4月	インターネット検査予約開始
20年 7月	静脈瘤外来開設
10月	糖尿病指導外来開設
21年 1月	敷地内全面禁煙
3月	春日井市民病院中期経営計画（公立病院改革プラン）策定
7月	糖尿病センター開設
22年 3月	災害拠点病院（地域災害医療センター）指定 中部大学との相互協力に関する覚書締結
6月	地域連携ステーション開設
9月	ブラッドアクセスセンター開設
23年 5月	電子カルテシステム導入 検査・入院案内コーナー設置
24年 3月	愛知県がん診療拠点病院 指定 災害派遣医療チーム（DMAT）発足
4月	一般病床のうち開放型病床を8床に変更
9月	地域医療支援病院承認
10月	（仮称）春日井市総合保健センター整備工事着工
25年 2月	看護相談外来開設
3月	春日井市民病院中期経営計画（公立病院改革プラン）改定
10月	もの忘れ外来開設 院内助産開設
26年 1月	神経内科、脳神経外科を総合保健医療センター棟に移設
2月	救急部門を総合保健医療センター棟に移設 救急病床開設 病床数：一般病床 556床（救急病床6床含む）、感染症病床 6床 計 562床となる
3月	放射線がん治療装置（トモセラピーHDA）導入
4月	脳卒中センター開設

平成26年	4月	内視鏡センター開設
	6月	春日井市総合保健医療センター開所 糖尿病センター移設使用開始 血管内治療センター移設使用開始
	12月	採血室移設 心臓血管撮影装置更新
27年	2月	検査・入院案内コーナー移設 地域連携ステーション移設
	3月	第2次春日井市民病院中期経営計画策定
	4月	研修管理室開設
	6月	売店をコンビニエンスストアに改修
	10月	救命救急センター指定
	12月	救命救急センター開設

2 歴代院長等（平成28年4月1日現在）

(1) 歴代院長

竹中元彦	昭26. 4. 1～昭29. 2. 16
後藤力	29. 3. 4～ 30. 12. 27
鈴木茂	30. 12. 28～ 57. 6. 30
大村豊	57. 7. 1～平2. 3. 31
三輪新	平2. 4. 1～ 12. 3. 31
矢野孝	12. 4. 1～ 21. 3. 31
渡邊有三	21. 4. 1～

(2) 歴代名誉院長

鈴木茂	昭57. 7. 1～平2. 3. 31
大村豊	平2. 4. 1～ 4. 3. 31
三輪新	12. 4. 1～ 21. 3. 31
矢野孝	21. 4. 1～ 24. 3. 31

(3) 歴代副院長

梶田武夫	昭26. 6. 1～昭30. 3. 1
林武久	30. 3. 7～ 32. 6. 30
飯田稔	33. 1. 1～ 45. 5. 1
中村金平	40. 8. 6～ 43. 7. 1
福井和典	43. 9. 1～ 49. 3. 31
船越宏恍	45. 3. 16～ 63. 12. 31
大村豊	52. 4. 1～ 57. 6. 30
三輪新	平2. 3. 1～平2. 3. 31
大橋大造	2. 3. 1～ 7. 3. 31
矢野孝	7. 1. 1～ 12. 3. 31
渡邊有三	12. 4. 1～ 21. 3. 31
金井道夫	14. 4. 1～ 27. 3. 31
伊藤和幸	15. 4. 1～ 24. 3. 31
種田陽一	24. 4. 1～ 26. 3. 31
平山幹生	24. 4. 1～ 27. 3. 31
松本修一	26. 4. 1～ 28. 3. 31
佐々木洋光	26. 4. 1～
山口竜三	27. 4. 1～
成瀬友彦	28. 4. 1～

(4) 歴代事務局長

林稔	昭25. 12. 1～昭29. 2. 1
伊藤六郎	29. 2. 1～ 29. 5. 10
梶田和雄	29. 5. 10～ 30. 6. 12
山崎成穂	30. 6. 13～ 30. 10. 10
伊藤義一	30. 10. 10～ 36. 4. 8

小川幸夫	36. 4. 8 ~ 42. 6. 30
長江不知男	昭42. 7. 1 ~ 昭50. 6. 30
永草宗司	50. 7. 1 ~ 54. 3. 31
三上坦	54. 4. 1 ~ 58. 3. 31
中山茂	58. 4. 1 ~ 62. 3. 31
荒川昭	62. 4. 1 ~ 平1. 3. 31
三上坦	平1. 4. 1 ~ 5. 3. 31
足立栄一	5. 4. 1 ~ 7. 3. 31
長江孝雄	7. 4. 1 ~ 7. 7. 31
長谷川典明	7. 8. 1 ~ 9. 3. 31
稲田嘉道	9. 4. 1 ~ 12. 3. 31
岡田滋	12. 4. 1 ~ 17. 3. 31
森川利博	17. 4. 1 ~ 19. 3. 31
梶田博	19. 4. 1 ~ 21. 3. 31
森典嗣	21. 4. 1 ~ 23. 3. 31
瀧本広男	23. 4. 1 ~ 27. 3. 31
大塚淳弘	27. 4. 1 ~

(5) 歴代看護部長

榎本まさ子	昭26. 8. 1 ~ 昭48. 8. 30 (看護婦長)
榎本まさ子	48. 7. 1 ~ 56. 3. 31 (総看護婦長)
小林静子	56. 4. 1 ~ 平3. 3. 31 (総看護婦長)
中山ルミ子	平3. 4. 1 ~ 7. 3. 31
岩田恒子	7. 4. 1 ~ 12. 3. 31
林静子	12. 4. 1 ~ 19. 3. 31
蔭山幸枝	19. 4. 1 ~ 24. 3. 31
鈴江智恵	24. 4. 1 ~

3 施設（平成28年4月1日現在）

(1) 所在地 愛知県春日井市鷹来町1丁目1番地1

(2) 施設名 春日井市民病院

(3) 開設者 春日井市長 伊藤 太

(4) 管理者 院長 渡邊 有三

(5) 病床数 一般病床 556床（うち救急部病床 6床）
感染症病床 6床 計 562床

(6) 診療科目 22科
内科、メンタルヘルス科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科

(7) 構造規模 敷地面積 140,200㎡

構 造 市民病院本棟
鉄骨鉄筋コンクリート造
病 棟 地上7階・地下1階
診療棟 地上3階・地下1階
総合保健医療センター棟
鉄骨造
地上4階

延べ面積 47,059㎡
うち市民病院本棟
45,672㎡
うち総合保健医療センター棟
1,387㎡

駐 車 場 1,100台

その他の付属施設

エネルギーセンター、研修医宿舎、看護職員宿舎、保育所

4 施設基準等（平成28年4月1日現在）

(1) 入院基本料に関する事項

- ・一般病棟入院基本料（7対1）

(2) 入院時食事療養費に関する事項

- ・入院時食事療養（Ⅰ）

(3) 基本診療料に関する事項

- ・地域歯科診療支援病院歯科初診料
- ・歯科診療特別対応連携加算
- ・超急性期脳卒中加算
- ・医師事務作業補助体制加算2（50対1）
- ・急性期看護補助体制加算（50対1）
- ・療養環境加算
- ・精神科リエゾンチーム加算
- ・医療安全対策加算1
- ・患者サポート体制充実加算
- ・ハイリスク妊娠管理加算
- ・総合評価加算
- ・病棟薬剤業務実施加算1
- ・退院支援加算1、地域連携診療計画加算
- ・認知症ケア加算1
- ・特定集中治療室管理料1
- ・歯科外来診療環境体制加算
- ・総合入院体制加算3
- ・診療録管理体制加算2
- ・看護職員夜間12対1配置加算2
- ・重症者等療養環境特別加算
- ・栄養サポートチーム加算
- ・感染防止対策加算1、感染防止対策地域連携加算
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ・ハイリスク分娩管理加算
- ・呼吸ケアチーム加算
- ・データ提出加算2
- ・救命救急入院料1
- ・小児入院医療管理料3,4

(4) 特掲診療料

- ・高度難聴指導管理料
- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・糖尿病透析予防指導管理料
- ・外来放射線照射診療料
- ・がん治療連携計画策定料
- ・薬剤管理指導料
- ・医療機器安全管理料1,2
- ・歯科治療総合医療管理料（Ⅰ）及び（Ⅱ）
- ・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
- ・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
- ・在宅血液透析指導管理料
- ・検体検査管理加算（Ⅰ）
- ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- ・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・神経学的検査
- ・CT透視下気管支鏡検査加算
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・糖尿病合併症管理料
- ・がん患者指導管理料1,2,3
- ・院内トリアージ実施料
- ・開放型病院共同指導料（Ⅱ）
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・地域連携診療計画加算
- ・医療機器安全管理料（歯科）
- ・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- ・検体検査管理加算（Ⅳ）
- ・長期継続頭蓋内脳波検査
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・CT撮影及びMRI撮影
- ・外来化学療法加算1

- ・無菌製剤処理科
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算あり
- ・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算あり
- ・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算あり
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算あり
- ・歯科口腔リハビリテーション料 2
- ・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）
- ・エタノールの局所注入（甲状腺）
- ・透析液水質確保加算 2
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・手術用顕微鏡加算
- ・う蝕歯無痛的窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算
- ・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
- ・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- ・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）
- ・乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）
- ・乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）
- ・経皮の中隔心筋焼灼術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- ・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
- ・体外衝撃波胆石破碎術
- ・腹腔鏡下肝切除術
- ・体外衝撃波膵石破碎術
- ・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剝離術
- ・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- ・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- ・医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
- ・輸血管管理料 I
- ・輸血適正使用加算
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ・歯周組織再生誘導手術
- ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- ・歯根端切除手術の注 3
- ・麻酔管理料（Ⅰ）
- ・放射線治療専任加算
- ・外来放射線治療加算
- ・高エネルギー放射線治療
- ・1 回線量増加加算
- ・強度変調放射線治療（IMRT）
- ・画像誘導放射線治療加算（IGRT）
- ・体外照射呼吸性移動対策加算
- ・定位放射線治療
- ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
- ・病理診断管理加算 2
- ・口腔病理診断管理加算 2
- ・クラウン・ブリッジ維持管理料

5 各種指定医・指定医療機関等の状況（平成28年4月1日現在）

(1) 指定医・指定医療機関

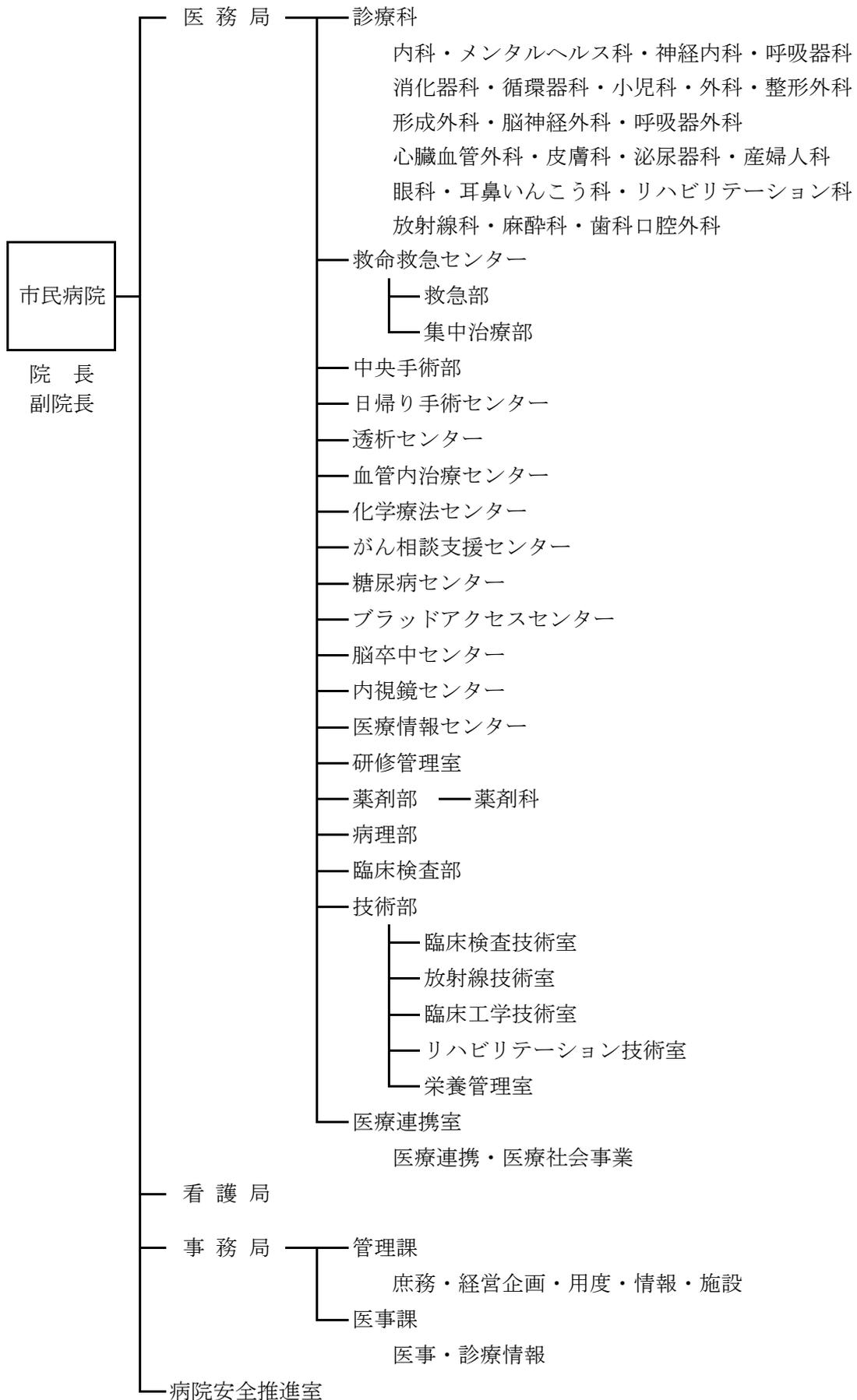
- ・ 保険医療機関
- ・ 救急告示病院
- ・ 労災保険指定医療機関
- ・ 生活保護法指定医療機関
- ・ 母体保護法指定医師
- ・ 臨床研修指定病院（医師法）
- ・ 指定自立支援医療機関
- ・ 肝疾患専門医療機関
- ・ 愛知県がん診療拠点病院
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 臓器提供施設
- ・ 救命救急センター
- ・ 国民健康保険療養取扱機関
- ・ 被爆者一般疾病医療機関
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ 生活保護法指定医療機関（歯科）
- ・ 難病指定医療機関
- ・ 臨床研修指定施設（歯科医師法）
- ・ 病院機能評価認定病院
- ・ 災害拠点病院（地域中核災害拠点病院）
- ・ DMA T 指定医療機関
- ・ 卒後臨床研修評価認定病院
- ・ 指定小児慢性特定疾病医療機関
- ・ D P C 対象病院

(2) 認定等

- ・ 日本内科学会認定医制度教育病院
- ・ 日本透析医学会専門医制度認定施設
- ・ 日本神経学会専門医制度教育施設
- ・ 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ・ 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・ 日本形成外科学会教育関連施設
- ・ 日本呼吸器内視鏡学会認定医制度認定施設
- ・ 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・ 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・ 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・ 日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・ 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・ 日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- ・ 日本腎臓学会研修施設
- ・ 日本肝臓学会認定施設
- ・ 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関（画像診断・I V R 部門、核医学部門、放射線治療部門）
- ・ 日本脳神経外科学会専門医認定制度研修施設
- ・ 日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
- ・ 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・ 日本集中治療医学会専門医研修施設
- ・ 日本呼吸器学会認定施設
- ・ 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- ・ 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・ 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・ 日本輸血細胞治療学会始め4学会認定輸血検査技師制度指定施設

- ・日本栄養療法推進協議会認定NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本病理学会研修認定施設B
- ・日本静脈経腸栄養学会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本病態栄養学会認定栄養管理・NST（栄養サポートチーム）実施施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本臨床細胞学会施設認定
- ・日本臨床細胞学会教育研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医暫定研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医暫定研修施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本手外科学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本医療機能評価機構認定
- ・日本脈管学会始め関連10学会腹部ステントグラフト実施施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
- ・日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会がん専門薬剤師認定制度がん専門薬剤師研修施設
- ・日本肝胆膵外科学会認定高度技能専門医修練施設B
- ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- ・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- ・日本高血圧学会専門医認定施設
- ・日本臨床衛生検査技師会精度保証施設
- ・日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
- ・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設（呼吸器科）
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設（小児科）
- ・日本顎顔面インプラント学会認定研修施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構施設画像評価委員会認定施設
- ・救急科専門医指定施設

6 組織（平成28年4月1日現在）



7 職員数

職 種	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医 師	156 (31 - 31)	167 (29 - 36)	177 (32 - 42)
薬 剤 師	27 (- 1)	27	31
診療放射線技師	28 (- 2)	30 (- 2)	30 (- 1)
臨床検査技師	33 (- 6)	37 (- 9)	38 (- 8)
理学療法士	9	9	11
作業療法士	4	5	5
あん摩マッサージ指圧師	1	1	1
はり 師	1	1	1
臨床工学技士	15 (- 1)	16	18
視能訓練士	2	2	4 (- 2)
言語聴覚士	2	3	3
臨床心理士	2	2	2
超音波検査士	1	0	
小 計	125 (- 10)	133 (- 11)	144 (- 11)
助 産 師	37 (- 3)	37 (- 1)	32 (- 2)
看 護 師	569 (- 79)	573 (- 76)	570 (- 75)
准 看 護 師	15 (- 5)	13 (- 4)	14 (- 5)
歯科衛生士	6 (- 5)	6 (- 5)	9 (- 6)
小 計	627 (- 92)	629 (- 86)	625 (- 88)
行政事務職	41 (2 - 6)	52 (2 - 16)	54 (3 - 16)
行政技術職	2	2	2
栄 養 士	3	4 (- 1)	5 (- 1)
保 育 士	14 (- 13)	15 (- 14)	18 (- 17)
現 業 員	1	1	1
用 務 員	57 (- 56)	51 (- 50)	49 (- 48)
小 計	118 (2 - 75)	125 (2 - 81)	129 (3 - 82)
合 計	1,026 (33 - 208)	1,054 (31 - 214)	1,075 (35 - 223)

各年度6月1日現在の職員数。(-)は前が嘱託職員、後が臨時職員で内数。

休暇中職員を含む。

8 主要医療器械備品（平成27年度購入分）

※購入金額：税込2,000万円以上

No.	器 械 名	購入年月日	所 属
1	腹部超音波画像診断装置	7月23日	消化器科
2	血管超音波画像診断装置	8月27日	血管内治療センター
3	手術用顕微鏡	11月13日	脳神経外科
4	電動ベッド	12月22日	看護局

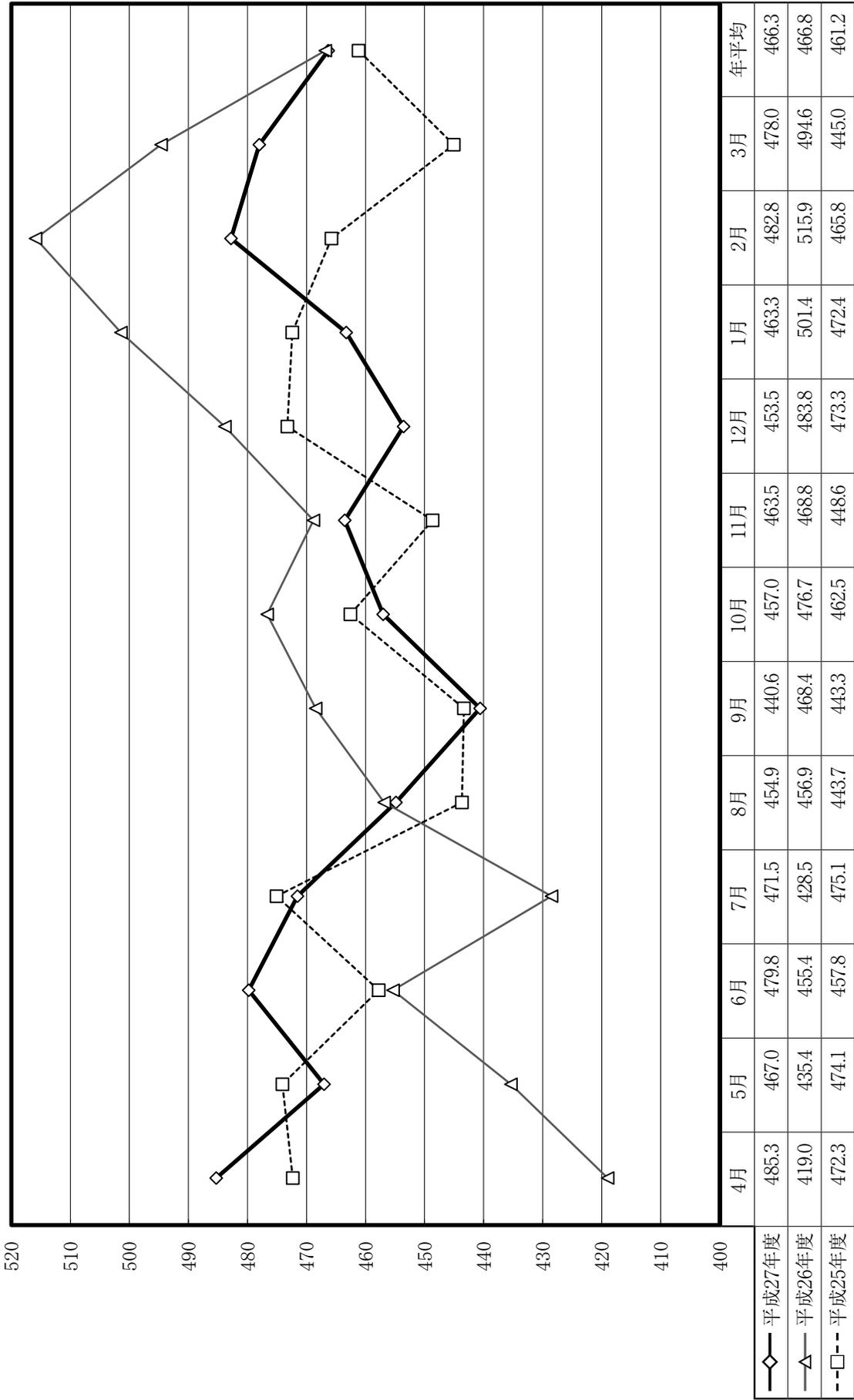
II 業務概要

1 入院者数

(単位:人)

科	平成27年				平成28年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
内科	1,567	1,427	1,605	1,354	1,385	1,167	1,565	1,589	1,291	1,679	1,324	1,257	17,210				
神経内科	1,426	1,251	1,471	1,469	1,568	1,216	1,386	1,243	1,202	1,177	1,313	1,337	16,059				
呼吸器科	1,066	896	925	785	714	821	890	938	862	1,029	983	1,018	10,927				
消化器科	3,046	2,940	2,987	2,872	2,736	2,616	2,896	2,921	2,438	2,676	2,658	2,843	33,629				
循環器科	1,170	1,275	967	1,061	1,024	937	836	773	1,209	1,196	1,246	1,309	13,003				
小児科	947	874	903	976	821	939	837	823	907	661	697	801	10,186				
外科	1,352	1,709	1,749	1,795	1,863	1,824	1,835	1,607	1,853	1,767	1,805	1,752	20,911				
整形外科	1,242	1,401	1,145	1,472	1,224	1,099	1,387	1,547	1,566	1,567	1,420	1,818	16,888				
形成外科	96	124	161	165	157	89	110	92	96	105	51	52	1,298				
脳神経外科	944	920	786	850	670	895	920	872	937	815	736	694	10,039				
呼吸器外科	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	16	0	25				
心臓血管外科	0	0	0	0	0	22	15	0	15	19	15	10	96				
皮膚科	37	66	89	119	85	10	51	68	87	6	58	55	731				
泌尿器科	376	328	378	407	359	351	355	398	347	376	414	448	4,537				
産婦人科	664	667	619	589	729	671	694	567	621	673	630	783	7,907				
眼科	78	133	78	66	77	41	64	43	69	87	95	75	906				
耳鼻いんこう科	319	208	222	292	325	274	133	193	252	186	205	248	2,857				
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
歯科口腔外科	229	259	309	345	355	246	193	232	308	342	335	318	3,471				
計	14,559	14,478	14,394	14,617	14,101	13,218	14,167	13,906	14,060	14,361	14,001	14,818	170,680				
実働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366				
1日平均	485.3	467.0	479.8	471.5	454.9	440.6	457.0	463.5	453.5	463.3	482.8	478.0	466.3				
新生児	186	210	160	178	186	133	201	136	181	158	137	168	2,034				
感染症病棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平成26年度	12,569	13,497	13,661	13,283	14,163	14,053	14,777	14,065	14,999	15,544	14,445	15,334	170,390				
平成25年度	14,170	14,696	13,733	14,727	13,754	13,300	14,339	13,459	14,671	14,645	13,042	13,796	168,332				

1日平均入院患者数の推移

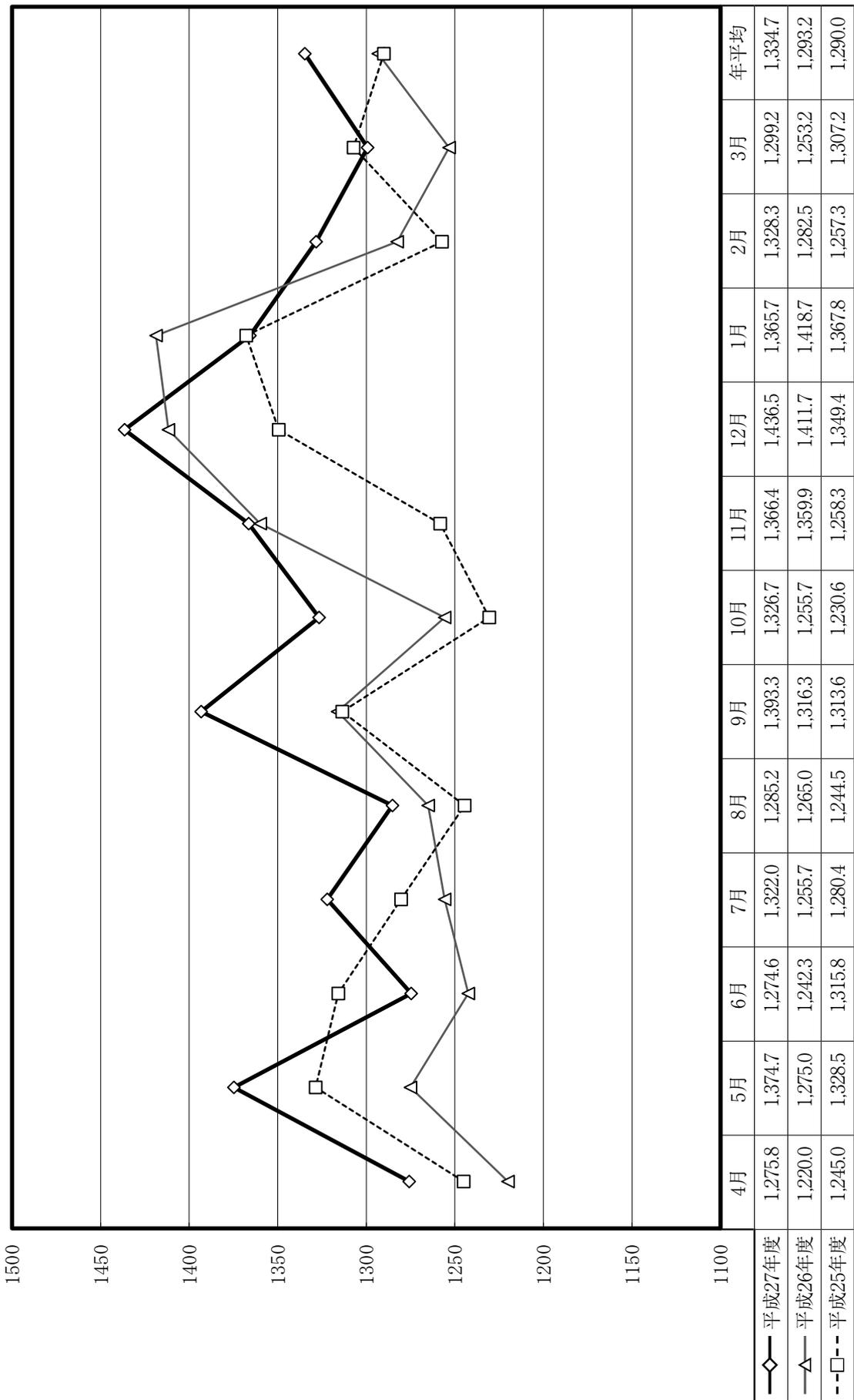


2 外来受診者数

(単位:人)

科	平成27年												平成28年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	4,420	4,037	4,338	4,481	4,303	4,216	4,361	4,136	4,333	4,333	4,435	4,692	52,085			
メンタルヘルス科	441	390	384	431	376	376	423	329	347	272	274	297	4,340			
神経内科	1,902	1,680	1,865	1,847	1,750	1,713	1,829	1,547	1,703	1,509	1,568	1,785	20,698			
呼吸器科	757	814	861	942	770	842	827	818	913	867	839	866	10,116			
消化器科	3,121	2,829	3,125	3,277	3,004	3,030	3,290	3,047	3,123	3,060	2,880	3,092	36,878			
循環器科	1,274	1,184	1,428	1,448	1,264	1,256	1,289	1,287	1,347	1,304	1,254	1,517	15,852			
小児科	2,010	1,878	2,179	2,242	2,186	2,034	2,081	2,066	2,114	1,902	2,177	2,221	25,090			
外科	1,913	1,709	2,038	2,245	2,007	1,992	2,176	2,056	2,046	1,875	1,992	2,000	24,049			
整形外科	1,957	2,012	2,342	2,300	2,207	2,185	2,312	2,159	2,368	2,251	2,233	2,364	26,690			
形成外科	316	292	351	354	318	332	367	287	333	303	274	372	3,899			
脳神経外科	757	709	779	789	694	724	878	714	784	696	731	811	9,066			
呼吸器外科	19	21	30	41	25	33	20	21	26	26	19	36	317			
心臓血管外科	2	3	2	11	8	11	15	15	13	15	15	10	120			
皮膚科	711	721	851	958	1,006	817	806	733	722	737	790	772	9,624			
泌尿器科	1,694	1,463	1,672	1,808	1,561	1,691	1,757	1,480	1,662	1,502	1,530	1,653	19,473			
産婦人科	992	910	1,078	1,074	963	1,003	1,068	1,019	985	953	996	1,167	12,208			
眼科	810	696	834	872	819	785	868	716	819	732	776	851	9,578			
耳鼻いんこう科	1,527	1,332	1,502	1,571	1,407	1,347	1,290	1,359	1,331	1,293	1,261	1,406	16,626			
リハビリテーション科	423	480	519	576	552	496	530	518	594	631	613	621	6,553			
放射線科	238	200	282	296	324	204	210	252	280	247	373	359	3,265			
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
歯科口腔外科	1,507	1,385	1,581	1,520	1,445	1,385	1,463	1,402	1,450	1,441	1,536	1,690	17,805			
計	26,791	24,745	28,041	29,083	26,989	26,472	27,860	25,961	27,293	25,949	26,566	28,582	324,332			
実働日数	21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	20	22	243			
1日平均	1,275.8	1,374.7	1,274.6	1,322.0	1,285.2	1,393.3	1,326.7	1,366.4	1,436.5	1,365.7	1,328.3	1,299.2	1,334.7			
平成26年度	25,621	25,500	26,089	27,626	26,565	26,325	27,625	24,478	26,823	26,956	24,368	27,571	315,547			
平成25年度	26,145	27,899	26,315	28,168	27,378	24,959	27,073	25,166	25,639	25,988	23,889	26,144	314,763			

1日平均外来受診者数の推移



3 入院・外来の患者構成と居住地区
年齢別入院患者数

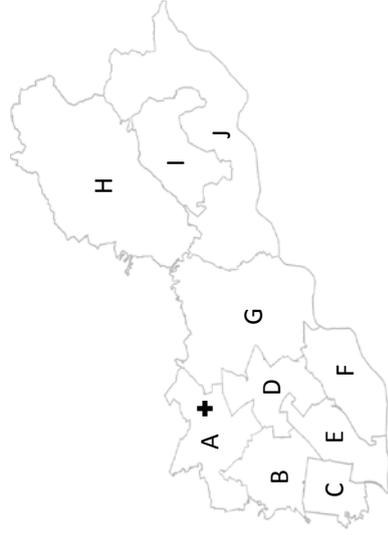
(単位:人)

	平成26年度	平成27年度
100歳以上	21	23
90歳代	585	621
80歳代	2,230	2,465
70歳代	3,232	3,331
60歳代	2,315	2,288
50歳代	931	1,029
40歳代	815	795
30歳代	521	534
20歳代	293	319
10歳代	341	323
0～9歳	1,360	1,526
計	12,644	13,254
平均年齢	59.8歳	59.7歳

居住地区別入院患者数

(単位:人)

地区名	平成26年度	平成27年度
春日井地区	1,075	1,068
味美地区	697	864
勝川地区	1,317	1,333
南部地区	1,046	1,089
中部地区	1,310	1,466
鷹来地区	1,308	1,398
東部地区	2,021	2,168
高蔵寺地区	636	647
坂下地区	470	451
ニュータウン地区	811	804
小牧市	1,084	1,148
名古屋守山区	209	210
その他	660	608
計	12,644	13,254



A:鷹来地区
B:春日井地区
C:味美地区
D:中部地区
E:勝川地区
+:市民病院

F:南部地区
G:東部地区
H:坂下地区
I:ニュータウン地区
J:高蔵寺地区

居住地区別外来患者数

(単位:人)

地区名	平成26年度	平成27年度
春日井地区	5,005	5,139
味美地区	3,168	3,418
勝川地区	5,616	5,844
南部地区	4,903	5,063
中部地区	6,509	6,602
鷹来地区	5,705	5,826
東部地区	9,506	9,839
高蔵寺地区	3,564	3,454
坂下地区	2,212	2,156
ニュータウン地区	4,148	3,925
小牧市	5,588	5,750
名古屋守山区	1,526	1,578
その他	5,478	4,471
計	62,021	63,065

(単位:人)

	平成26年度	平成27年度
100歳以上	30	45
90歳代	871	1,202
80歳代	5,325	6,158
70歳代	10,701	10,799
60歳代	8,998	8,882
50歳代	5,586	5,749
40歳代	6,875	7,001
30歳代	5,989	5,777
20歳代	4,576	4,439
10歳代	4,222	4,273
0～9歳	8,848	8,740
計	62,021	63,065
平均年齢	47.2歳	48.2歳

4 医療連携事業

(単位:人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
紹介受入患者数	25,150	25,878	28,241
診療	17,692	18,178	20,249
胃瘻交換	97	112	113
P T A	16	15	10
胃カメラ	564	544	540
腹部エコー	61	69	88
心エコー	151	137	134
注腸透視	160	113	105
脳波	4	16	7
C T	1,986	1,943	2,174
M R	1,263	1,186	1,273
アイソトープ	32	43	45
M M G	121	125	127
小計	4,342	4,176	4,493
外来患者数合計	22,147	22,481	24,865
入院患者数	3,047	3,397	3,376

(科別紹介患者数)

(単位:人)

	紹介受入患者数	紹介目的			紹介経路		
		検査	外来	入院	当日	連携室	WEB
内科	1,938	10	1,484	444	1,164	774	0
神経内科	1,652	7	1,411	234	1,053	599	0
呼吸器科	1,461	0	1,155	306	830	631	0
消化器科	4,207	844	2,735	628	2,106	1,899	202
循環器科	2,561	176	2,035	350	1,274	1,205	82
内科小計	11,819	1,037	8,820	1,962	6,427	5,108	284
メンタルヘルス科	85	0	85	0	51	34	0
小児科	1,911	0	1,368	543	1,661	250	0
外科	1,932	127	1,603	202	1,282	650	0
整形外科	1,561	1	1,293	267	1,092	469	0
形成外科	300	0	292	8	223	77	0
脳神経外科	713	0	618	95	498	215	0
呼吸器外科	14	0	12	2	3	11	0
心臓血管外科	12	0	12	0	10	2	0
皮膚科	592	0	559	33	392	200	0
泌尿器科	980	0	942	38	635	345	0
産婦人科	896	0	814	82	720	176	0
眼科	510	0	483	27	431	79	0
耳鼻いんこう科	1,268	0	1,174	94	891	377	0
リハビリテーション科	3	0	3	0	2	1	0
放射線科	3,515	3,451	58	6	6	2,988	521
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	2,130	0	2,113	17	1,868	262	0
計	28,241	4,616	20,249	3,376	16,192	11,244	805
平成26年度	25,878	4,303	18,178	3,397	15,307	9,772	799
平成25年度	25,150	4,411	17,692	3,047	15,512	8,885	753

5 紹介・逆紹介患者数及び紹介率

(単位:人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
紹介患者数(初診)(A)	18,921	19,916	20,669
逆紹介患者数(B)	21,273	23,456	25,608
初診患者数(C)	52,369	51,693	50,835
救急車来院初診患者数(D)	6,612	6,835	5,926
休日夜間受診初診患者数(E)	14,710	14,293	13,678
紹介率(A)/(C-D-E)	60.94%	65.16%	66.18%
逆紹介率(B)/(C-D-E)	68.52%	76.74%	82.00%

※平成26年4月に変更された地域医療支援病院の計算式で算出

6 診療時間外救急受入状況

(単位:件)

科	機関	消防署	救急情報センター	医療機関	休日急病診療所	直接	電話依頼	計
内科		627	0	82	23	1,489	586	2,807
メンタルヘルス科		0	0	0	0	0	0	0
神経内科		1,388	0	90	7	915	490	2,890
呼吸器科		257	2	59	14	356	154	842
消化器科		864	0	153	42	1,556	732	3,347
循環器科		521	0	50	12	556	266	1,405
小児科		503	3	463	107	2,918	1,757	5,751
外科		100	0	76	17	192	87	472
整形外科		988	0	85	25	2,125	998	4,221
形成外科		20	0	6	0	137	110	273
脳神経外科		670	0	30	5	841	529	2,075
呼吸器外科		1	0	2	0	29	19	51
心臓血管外科		0	0	0	0	1	0	1
皮膚科		29	0	12	6	514	236	797
泌尿器科		108	0	23	3	383	255	772
産婦人科		62	0	14	1	233	352	662
眼科		18	0	6	1	182	126	333
耳鼻いんこう科		146	1	49	2	634	376	1,208
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	0
放射線科		0	0	0	0	0	0	0
麻酔科		0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科		24	0	19	5	173	82	303
計		6,326	6	1,219	270	13,234	7,155	28,210
平成26年度		6,918	12	1,080	201	13,127	8,045	29,383
平成25年度		6,782	12	1,187	144	13,087	8,839	30,051

7 手術等件数

(単位:件)

区分	年月	平成27年												平成28年				月平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計				
手	内科	48	30	44	38	31	42	48	43	36	43	45	47	452	37.7			
	メンタルヘルス科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	呼吸器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	消化器科	8	6	12	10	9	6	11	5	6	10	6	7	86	7.2			
	循環器科	27	33	42	38	43	39	38	36	56	56	49	57	458	38.2			
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	外科	121	108	121	127	143	118	128	119	119	119	110	114	1,328	110.7			
	整形外科	76	85	71	87	80	74	83	76	77	87	83	91	883	73.6			
	形成外科	7	12	7	4	13	8	13	9	8	9	4	5	90	7.5			
	脳神経外科	23	16	28	21	31	25	19	23	24	13	21	22	253	21.1			
	呼吸器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	心臓血管外科	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	5	0.4			
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	泌尿器科	17	17	21	22	16	19	6	12	10	16	17	18	175	14.6			
	産婦人科	32	32	31	39	38	34	36	33	34	45	34	46	389	32.4			
	眼科	21	28	34	28	31	18	22	31	24	36	40	36	313	26.1			
術	耳鼻いんこう科	18	16	17	30	21	19	11	10	16	10	14	12	184	15.3			
	リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	放射線科	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	3	0.3			
	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	歯科口腔外科	17	12	12	17	14	13	15	15	8	17	12	13	148	12.3			
	計	415	395	440	463	470	416	431	413	419	463	436	469	4,767	397.3			
	平成26年度	393	405	395	438	434	412	456	374	473	417	408	469	4,657	388.1			
	平成25年度	390	419	394	488	440	417	502	412	442	429	368	438	4,710	392.5			
	眼 レンズ	平成27年度	20	24	30	23	28	17	19	27	20	34	37	32	277	23.1		
		平成26年度	25	36	30	33	30	21	37	20	23	21	16	28	299	24.9		
平成25年度		27	24	32	40	35	33	23	31	22	21	27	29	323	26.9			
ESWL	平成27年度	6	4	9	5	6	5	6	4	3	5	6	6	60	5.0			
	平成26年度	2	2	9	6	5	2	5	2	9	3	5	7	54	4.5			
	平成25年度	7	8	9	4	10	7	10	7	2	4	3	5	72	6.0			

8 人工透析件数 (単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	12,776	12,814	12,626
月平均	1,064.7	1,067.8	1,052.2

9 分娩件数 (単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	437	368	371

10 剖検件数 (単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	15	16	11

11 栄養指導等件数 (単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
栄養指導	1,892	2,393	2,732
栄養サポートチーム	232	219	181

12 処方せん枚数、薬剤管理指導件数 (単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
入院	70,267	70,547	73,039
外来処方せん枚数	17,626	16,542	15,443
注射せん枚数	128,748	130,836	135,386
T P N無菌調製件数	6,654	5,984	3,142
化学療法調製件数	5,131	5,460	6,163
薬剤管理指導件数	11,409	14,178	22,509
計	239,835	243,547	255,682
院外処方せん	136,266	132,728	135,195
院外処方せん発行率	88.5	88.9	89.7

13 検査件数 (単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
生化学	1,870,717	2,003,653	2,151,826
免疫	177,076	179,677	195,165
血液	732,310	771,755	819,356
一般	475,911	487,429	527,609
細菌	49,587	53,019	57,570
病理	12,764	13,015	13,619
生	32,652	34,621	37,065
計	3,351,017	3,543,169	3,802,210

14 放射線撮影件数

(単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般	単純撮影	79,489	78,338
	ポータブル	10,048	10,954
骨塩量測定	596	732	1,106
M	R	16,506	17,235
乳腺エコー	1,446	1,476	1,829
C	T	38,282	43,992
泌尿器科・婦人科撮影	285	301	326
透視	UGI	315	259
	腸	472	270
	透視検査	5,589	5,878
アイトーブ	1,466	1,771	2,112
放射線治療	1,955	4,273	4,411
血管	心カテー	1,060	931
	脳・腹部・その他	889	1,030
データ	画像入力	3,309	4,269
	画像出力	7,007	9,067
ESWL	120	93	123
計	163,126	177,738	182,280

15 各種検診等

区分	件数(件)	金額(円)	健診日
乳児健診	359	1,961,614	毎週月曜日
妊婦健診	4,027	30,210,630	平日診療日
被爆者健診	38	298,756	6月・11月
乳児予防接種	151	1,661,928	毎週火・木曜日
肺炎球菌予防接種(高齢者)	89	470,675	平日診療日
インフルエンザ予防接種(高齢者)	828	2,310,382	平日診療日
X-P委託	13	28,080	
結核定期病状調査	18	54,000	
その他の	634	6,458,202	
計	6,157	43,454,267	

16 がん相談支援センター相談件数

(単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	1,251	1,895	1,843

17 特殊外来の状況

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	26年度	25年度
女性専用外来	0	1	2	2	1	0	2	2	0	1	2	1	13	1	15	13
新生児聴覚検査	28	33	22	30	30	23	34	24	23	26	23	20	290	24	311	375
美容相談	5	4	6	1	4	4	4	5	10	2	3	14	60	5	113	159
日帰り手術	消化器科	11	14	16	22	18	27	15	12	19	17	12	182	15	207	291
	外科	9	17	12	22	9	4	10	5	11	13	4	119	10	104	144
	形成外科	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	1	5	0	13	10
計	20	31	29	44	27	32	33	25	17	31	31	17	306	26	324	445
外来化学療法	392	360	393	393	386	398	394	380	354	367	382	436	4,268	356	4,076	3,729
エピソード外来	10	10	10	14	5	6	5	7	7	4	5	14	93	8	67	40
脳卒中外来	20	13	30	17	23	17	17	29	31	19	34	21	252	21	223	

18 市民公開講座

平成25年度

日付	題名	診療科	講師	参加人数
6月8日(土)	心臓発作の治療と予防	循環器科	寺沢彰浩	110人
	脳卒中の治療と予防	神経内科	寺尾心一	
11月2日(土)	糖尿病の現状と最新の治療について	内科(医務局長)	佐々木洋光	130人
	糖尿病の予防について	糖尿病センター	松田淳一	
12月7日(土)	がんを乗り越えて	NPO法人ミーネット	渡辺茂樹	260人
	ここまで進んだ早期消化管がん(胃・食道・大腸)の診断・治療	消化器科	平田慶和	
	がん腹腔鏡手術治療について	日帰り手術センター	渡邊真哉	
2月15日(土)	もの忘れと認知症について	神経内科	寺尾心一	220人
	退院支援サービスについて	地域連携ステーション	白澤恵	

平成26年度

日付	題名	診療科	講師	参加人数
6月21日(土)	体の健康は口の中から	歯科口腔外科	脇田壮	38人
	肺炎を予防するためのポイント	看護局	松永美保	
	正しいブラッシング方法	看護局(歯科衛生士)	清水純子	
9月13日(土)	怖い腎臓病を早期発見するために	内科(医務局長)	成瀬友彦	230人
	慢性腎臓病(CKD)の現状と課題	院長	渡邊有三	
12月13日(土)	肺がんと言われたらどうする?	副院長(呼吸器科)	松本修一	120人
2月14日(土)	食物アレルギーの診断と治療について	小児科	小林貴江	76人
	家庭でのアレルゲン除去について	栄養管理室	大門有紀	
	いざという時のエピペン注射	薬剤部	服部芳明	

平成27年度

日付	題名	診療科	講師	参加人数
6月13日(土)	よくわかる前立腺がんのはなし	泌尿器科	春日井震	132人
	当院の放射線治療とトモセラピーについて	放射線科	小崎桂	
9月26日(土)	肝臓病に使うわかりやすい薬のはなし	薬剤部	中崎みづき	233人
	肝臓病の最新情報	消化器科	祖父江聡	
12月12日(土)	もの忘れと認知症のおはなし	神経内科	寺尾心一	253人
		看護部	伊藤松恵	
2月6日(土)	よくある眼の病気	眼科	福田紘子	228人
	知っておきたい耳と鼻の病気	耳鼻咽喉科	佐藤雄二	

Ⅲ 経理概要

1 年度別収支状況（消費税抜）

(1) 総括

（単位：円）

科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
病院事業収益	14,253,019,704	14,880,198,964	15,485,880,034
病院事業費用	13,994,321,952	17,503,475,664	14,986,008,222
差引純損益	258,697,752	△ 2,623,276,700	499,871,812
資本的収入	195,178,001	194,758,669	205,797,001
資本的支出	1,892,982,994	1,733,446,745	1,625,596,900
資本的収支差引	△ 1,697,804,993	△ 1,538,688,076	△ 1,419,799,899

(2) 収益的収支

病院事業収益

(単位:円)

科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医業収益	13,357,505,924	13,707,678,937	14,354,268,960
入院収益	9,172,751,757	9,334,140,513	9,731,419,625
外来収益	3,835,991,913	4,007,489,739	4,233,292,489
その他医業収益	348,762,254	366,048,685	389,556,846
医業外収益	895,513,780	1,172,520,027	1,131,611,074
受取利息配当金	2,044,545	4,749,772	4,845,906
他会計補助金	708,915,000	761,424,000	787,498,000
補助金	22,195,000	22,539,000	25,951,000
長期前受金戻入		188,599,407	108,660,076
その他医業外収益	162,359,235	195,207,848	204,656,092
特別利益	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0
過年度損益修正益	0	0	0
その他特別利益	0	0	0
計	14,253,019,704	14,880,198,964	15,485,880,034

病院事業費用

科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医業費用	13,254,025,271	13,844,655,652	13,989,783,603
給与費	6,853,127,928	7,077,631,660	7,501,383,087
材料費	2,599,307,672	2,623,397,953	2,910,333,100
経費	2,387,245,705	2,297,225,958	2,311,115,432
減価償却費	1,348,866,111	1,770,662,081	1,194,352,741
資産減耗費	26,159,124	33,373,806	20,909,421
研究研修費	39,318,731	42,364,194	51,689,822
医業外費用	708,176,797	879,481,773	996,214,269
支払利息及び 企業債取扱諸費	224,873,465	211,583,169	198,032,508
繰延勘定償却	149,904,000	146,624,000	122,094,000
雑損失	333,399,332	521,274,604	676,087,761
特別損失	32,119,884	2,779,338,239	10,350
固定資産売却損	0	0	0
過年度損益修正損	14,876,103	6,992	10,350
その他特別損失	17,243,781	2,779,331,247	0
計	13,994,321,952	17,503,475,664	14,986,008,222

(3) 資本的収支

資本的収入

(単位:円)

科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
企 業 債	0	0	0
出 資 金	180,580,000	183,902,000	187,290,000
負 担 金	0	0	0
工 事 収 入	0	0	0
他会計貸付金返還金	0	0	0
固定資産売却代金	0	0	0
その他資本的収入	10,500,001	10,856,669	9,800,001
国 庫 補 助 金	0	0	0
県 補 助 金	4,098,000	0	8,707,000
計	195,178,001	194,758,669	205,797,001

資本的支出

科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
建 設 改 良 費	1,135,848,535	960,829,840	821,238,544
償 還 金	722,317,399	735,607,695	749,158,356
投 資	34,817,060	37,009,210	55,200,000
計	1,892,982,994	1,733,446,745	1,625,596,900

2 貸借対照表(消費税抜)

資産の部

(単位:円)

科 目	借 方		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
固定資産	26,742,863,999	24,450,653,389	23,663,686,800
有形固定資産	25,572,195,299	23,293,578,559	22,663,611,970
土地	8,351,700,767	8,380,094,431	8,380,094,431
建物	14,281,828,982	11,867,947,818	11,551,543,839
構築物	277,155,714	167,736,800	163,492,336
器械備品	2,269,960,342	2,320,966,173	2,250,107,894
車両運搬具	7,537,779	7,089,237	5,673,770
リース資産	0	549,744,100	312,699,700
建設仮勘定	384,011,715	0	0
無形固定資産	0	0	0
ソフトウェア	0	0	0
ソフトウェア仮勘定	0	0	0
投資	1,170,668,700	1,157,074,830	1,000,074,830
貸付金	170,600,000	157,000,000	166,300,000
貸付金貸倒引当金	0	0	△ 166,300,000
一般会計貸付金	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
その他投資	68,700	74,830	74,830
流動資産	9,139,045,104	8,487,088,179	8,964,871,685
現金預金	6,969,471,617	6,028,633,778	6,420,062,753
未収金	2,000,851,584	2,276,126,717	2,358,912,062
未収金	2,000,851,584	2,363,126,717	2,443,351,062
貸倒引当金	0	△ 87,000,000	△ 84,439,000
保管有価証券	0	0	0
貯蔵品	168,721,903	179,054,965	184,353,870
前払金	0	3,272,719	1,543,000
繰延勘定	278,218,000	131,594,000	9,500,000
開発費	278,218,000	131,594,000	9,500,000
資産合計	36,160,127,103	33,069,335,568	32,638,058,485

負債の部

科 目	貸 方		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
固定負債	1,656,648,971	14,064,068,558	13,119,575,648
企業債	0	10,244,077,578	9,481,102,808
リース債務	0	297,753,980	190,110,840
引当金	1,656,648,971	3,522,237,000	3,448,362,000
退職給付引当金	824,371,971	2,832,000,000	2,834,825,000
修繕引当金	832,277,000	690,237,000	613,537,000
流動負債	2,137,213,218	2,987,153,097	2,913,160,188
企業債	0	749,158,356	762,974,770
リース債務	0	270,621,408	139,196,852
未払金	2,131,658,305	1,399,427,732	1,546,381,965
預り有価証券	0	0	0
前受金	4,554,913	4,600,601	4,793,601
引当金	0	562,345,000	458,813,000
賞与引当金	0	562,345,000	458,813,000
その他流動資産	1,000,000	1,000,000	1,000,000
繰延収益	0	2,875,597,950	2,775,644,874
長期前受金	0	5,949,709,677	5,956,934,278
受贈財産評価額	0	206,133,801	206,133,801
国庫補助金	0	307,935,479	307,935,479
県補助金	0	140,983,397	148,207,998
負担金	0	5,294,657,000	5,294,657,000
収益化累計額	0	△ 3,074,111,727	△ 3,181,289,404
受贈財産評価額	0	△ 73,315,723	△ 78,345,843
国庫補助金	0	△ 119,183,389	△ 126,934,757
県補助金	0	△ 64,499,284	△ 68,725,901
負担金	0	△ 2,817,113,331	△ 2,907,282,903
負債合計	3,793,862,189	19,926,819,605	18,808,380,710

資本の部

科 目	貸 方		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
資本金	31,586,938,123	20,041,996,494	20,229,286,494
資本金	19,858,094,494	20,041,996,494	20,229,286,494
借入資本金	11,728,843,629	0	0
企業債	11,728,843,629	0	0
剰余金	779,326,791	△ 6,899,480,531	△ 6,399,608,719
資本剰余金	6,177,040,885	186,335,232	186,335,232
受贈財産評価額	210,391,801	4,258,000	4,258,000
国庫補助金	473,466,084	165,325,946	165,325,946
県補助金	159,268,000	16,751,286	16,751,286
負担金	5,333,915,000	0	0
利益剰余金	△ 5,397,714,094	△ 7,085,815,763	△ 6,585,943,951
減債積立金	0	0	0
建設改良積立金	0	0	0
当年度末処分利益剰余金 (当年度末処理欠損金)	△ 5,397,714,094	△ 7,085,815,763	△ 6,585,943,951
資本合計	32,366,264,914	13,142,515,963	13,829,677,775
負債・資本合計	36,160,127,103	33,069,335,568	32,638,058,485

3 経営分析

項 目				平成25年度	平成26年度	平成27年度		
病 利 用 床 率	一	般	年間延入院患者数/年間延病床数×100	(%)	83.7	84.0	83.9	
	感	染	年間延入院患者数/年間延病床数×100	(%)	0.0	0.0	0.0	
患 者 数	外来・入院患者比率		年間延外来患者数/年間延入院患者数×100	(%)	187.0	185.2	190.0	
	職員1人 1日当たり 患者数	医 師	入院	年間延入院患者数/年間延医師数	(人)	3.6	3.4	3.3
			外来	年間延外来患者数/年間延医師数	(人)	6.8	6.3	6.2
		看 護 部 門 職 員	入院	年間延入院患者数/年間延看護部門職員数	(人)	0.8	0.8	0.8
			外来	年間延外来患者数/年間延看護部門職員数	(人)	1.4	1.4	1.4
平均 在 院 日 数			延在院患者数/(入院患者数+退院患者数)÷2)	(日)	11.8	11.5	11.2	
平均外来一人当たり通院回数			年間延外来患者数/年間新規外来患者数	(回)	5.6	5.7	6.0	
収 入	患者1人 1日当たり 診療収入	入 院	入院収益/年間延入院患者数	(円)	54,492	54,781	57,016	
		外 来	外来収益/年間延外来患者数	(円)	12,187	12,700	13,052	
薬 品	患者1人1日当たり 薬 品 費		薬品費(投薬注射)/年間延患者総数	(円)	2,114	2,147	2,317	
	薬 品 使 用 効 率		薬品収入/薬品費(投薬注射)×100	(%)	70.4	69.8	74.4	
診 療 収 入 に 対 する 割 合	投 薬 注 射 収 入		投薬注射収入/入院外来収益×100	(%)	5.5	5.5	6.1	
	検 査 収 入		検査収入/入院外来収益×100	(%)	8.5	8.8	8.8	
	放 射 線 収 入		放射線収入/入院外来収益×100	(%)	7.1	7.2	7.4	
医 業 収 益 に 対 する 割 合	薬 品 費		薬品費(投薬注射)/医業収益×100	(%)	7.6	7.6	8.0	
	医 療 材 料 費		医療材料費/医業収益×100	(%)	19.5	19.1	20.3	
	職 員 給 与 費		職員給与費/医業収益×100	(%)	51.3	51.6	52.3	
総 収 支 比 率			総収益/総費用×100	(%)	101.8	85.0	103.3	
経 常 収 支 比 率			経常収益/経常費用×100	(%)	102.1	101.1	103.3	
医 業 収 支 比 率			医業収益/医業費用×100	(%)	100.8	99.0	102.6	

地域連携誌「Trinity」の発行

市民病院では平成23年2月から、地域の医療機関の皆様へ地域連携誌「Trinity」を発行しています。最近の医療の話題や当院の治療実績、メディカルスタッフやチーム医療の活動紹介等を取り上げています。春日井市民病院ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.hospital.kasugai.aichi.jp>



○Vol.18 平成27年5月25日号

- 平成27年度を迎えて
- 事務局長からのご挨拶
- 副院長からのご挨拶
- 医務局長からのご挨拶
- お世話になります！新任医師紹介コーナー
- 薬剤部Q&A
- Drug information
- 数字で見る春日井市民病院
- 研修会のご案内



○Vol.19 平成27年9月25日号

- 人工心肺を使用しない心拍動下冠動脈バイパス術 (OPCAB)
- お世話になります！新任医師紹介コーナー
- つむぎ 質の高い手術の提供を目指して
- 研修会報告
- 部局紹介 ～研修管理室～
- 薬剤部Q&A
- 数字で見る春日井市民病院
- 研修会のご案内



○Vol.20 平成28年1月25日号

- Trinity年頭号に寄せて
- 医療連携室から新年のごあいさつ
- お世話になります！新任医師紹介コーナー
- 救命救急センターの開設にあたって
- 「薬剤師外来」を開設しました
- つむぎ がん化学療法看護認定看護師の活動

病院新聞「さくら」の発行

市民病院では平成17年8月から、地域の皆様へ向けた病院新聞を発行しています。病気のおはなし、当院の治療実績や、病院行事などを取り上げて紹介しています。春日井市民病院ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.hospital.kasugai.aichi.jp>



○Vol.30 平成27年4月1日号

- ・新・救急部の一年を振り返って
- ・シリーズ
もの忘れと認知症のおはなし（第4回）
神経内科 寺尾 心一
- ・シリーズ 薬の使い方（第6回）
- ・病院有料駐車場の使用料を改定します
- ・平成27年度の市民公開講座の開催予定



○Vol.31 平成27年7月1日号

- ・平成27年4月からの救急外来担当医新体制について
- ・コンビニエンスストアがオープン！
- ・平成26年度病院満足度調査
- ・シリーズ 薬の使い方（第7回）
- ・第42回市民公開講座を開催しました



○Vol.32 平成28年1月1日号

- ・平成28年の年頭にあたってのご挨拶
- ・救命救急センターが開設されました
- ・救命救急センターからのお願い
- ・花粉症の予防と対策
耳鼻いんこう科 佐藤 雄二
- ・市民病院のクリスマス
- ・シリーズ 薬の使い方（第8回）
- ・市民公開講座の開催予定

中日新聞 「リンクト」 LINKED

「シアワセをつなぐ仕事」、「病院を知ろう」に
春日井市民病院が掲載されました。

<http://www.project-linked.jp>



LINKED-Plus19号
平成27年9月発行



LINKED-Plus20号
平成27年12月発行

市民病院フォトギャラリー



病院西側さくら並木



救命救急センター設置



コンビニエンスストア
オープン



患者向けデジタル
サイネージ導入



世界糖尿病デーの
ブルーサークル活動



市民公開講座



小児病棟七夕会



おっぴいのクラス



緩和ケアウィーク活動



小児科病棟クリスマス会



光の切り絵・幻灯展



増築した保育所（内部）



（外観）

監 修 渡 邊 有 三
編 集 會 津 惠 司
委 員 坂 洋 祐
星 野 伸
鈴 江 智 惠
坂 井 勝 己
澤 井 康 憲
服 部 芳 明

春日井市民病院年報 第3巻

平成28年11月30日 印刷

平成28年12月1日 発行

編 集 春日井市民病院年報編集委員会

発 行 春日井市民病院

〒486-8510 春日井市鷹来町1丁目1番地1

電 話 (0568) 57-0057

印刷所 木野瀬印刷株式会社

〒486-0958 春日井市西本町3丁目235番地

電 話 (0568) 31-3118
